令和8年度　中野川集会所改修工事

図面				表	
図面ＮＯ	意匠	図面ＮＯ	電気	図面ＮＯ	機械
01	改修特記仕様書(1)	01	電気特記仕様書	01	機械特記仕様書(1)
02	改修特記仕様書(2)	02	電気設備機材指定表	02	機械特記仕様書(2)
03	改修特記仕様書(3)	03	照明器具姿図　盤図	03	機器表
04	設計概要・附近見取図・配置図	04	電気設備図（1）	04	機械設備図
05	仕上表・平面図	05	電気設備図（2）		
06	基礎伏図・床伏図				
07	屋根伏図・天井伏図				
08	改修前　立面図・矩形図・梁伏図・小屋伏図				
09	改修後　立面図・矩形図				
10	展開図				
11	建具リスト				

令和8年3月現在
表紙共21枚

いの町
（株）ＭＡ設計事務所

特記仕様書（建築改修工事編）

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　高知県香川郡いの町中野川228-2　（　都市計画区域　内・(外)　）

2．敷地面積　一　㎡

3．構造・規模　木造平屋　階

4．建築面積　56.15　㎡　5．延床面積　56.15（≒17坪）　㎡

6．主要用途　集会所

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という）による

（2）　電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は（　）図、機械設備改修工事の仕様書は（　）図による

（3）　受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること

2．特記仕様

（1）　項目は、⊙印の付いたものを適用する

（2）　特記事項は、⊙印の付いたものを適用する
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
⊙印と㊛印の付いた場合は、共に適用する

（3）　特記事項に記載の［　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す

（4）　特記事項に記載の（　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す

（5）　G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による

（6）　標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する

1 各章共通事項

⊙適用基準及び区分

※　建築工事監理指針（上下巻）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
※　建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
・　鉄骨設計標準図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・　鉄骨工事技術指針　工場製作編　工事現場施工編　日本建築学会
※　建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
※　建設副産物適正処理推進要綱
※　建築材料等評価名簿　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※　工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・　建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する
区分等　基準風速　Vo=（　）m/s　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
積雪区分　建設省告示第1455号　別表（　）

⊙電気保安技術者　・適用する　⊙適用しない　[1.3.3]

⊙施工条件　施工時間帯　㊛指定なし　・指定有り（　）　[1.3.5]
部位別の施工順序　㊛指定なし　・指定有り（　）　⊙工期厳守
⊙道路（バス停有り）等交通に支障のないよう配慮すること
⊙本工事は４週８休対象工事とする（月単位）

⊙発生材の処理　・引き渡しを要するもの（　）　[1.3.12]
・特定管理産業廃棄物（種類：　処理方法：　）
⊙現場において再利用を図るもの（図示　）
・再生資源化を図るもの（・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊⊙建設発生木材）
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする

⊙材料の品質等　[1.4.2]
本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 及び JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする
１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
３）安定的な供給が可能であること
４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けること。
製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する

⊙石綿含有建材の調査　調査　[1.5.1]
※ 石綿含有建材の事前調査（報告書作成共）
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う

貸与資料（　）
・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、
クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析（JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2）	定量分析（JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

⊙施工数量調査　調査項目　・防水改修　・外壁改修　⊙構造材や下地材の木材等の腐食状況　[1.6.2]
調査範囲　※図示　⊙図示撤去範囲以外
調査方法　※テストハンマーによる打診及び目視　・図示
外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。
また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に２部提出する
（必要に応じ写真等を添付する）

・調査のための破壊部分の補修　既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　[1.6.3]

⊙技能士　[1.7.2]

工事種別	技能検定職種	技能検定作業の種別
仮設工事	とび	⊙とび作業
防水改修工事	防水施工	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ﾓﾙﾀﾙ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業
	左官	・左官作業
	ﾀｲﾙ張り	・ﾀｲﾙ張り作業
建具改修工事	ｻｯｼ施工	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	・ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ﾄﾞｱ施工	・自動ﾄﾞｱ施工作業
内装改修工事	建築大工	⊙大工工事作業
	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	⊙内外装板金作業
	内装仕上施工	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・化粧ﾌｨﾙﾑ工事作業
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
	表装	⊙壁装作業
	左官	・左官作業
	ﾀｲﾙ張り	・ﾀｲﾙ張り作業
塗装改修工事	塗装	⊙建築塗装作業
耐震改修工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業
	型枠施工	・型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
	鉄工	・構造物鉄工作業
	とび	・とび作業
環境配慮改修工事	配管	・建築配管作業
	路面表示施工	・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業
	造園	・造園工事作業

・室内空気中の化学物質の濃度測定　施工完了時に室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し、報告すること　[1.7.9]
測定対象室及び測定箇所数　※図示（仕上表備考欄）　・（　）か所

⊙室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする

対象建築材料等	使用制限
①合板、木質ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材 単板積層板、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする
②塗料	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、 ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有していない水性系のものとする
③木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する
④内装用接着剤、木工事用接着剤	１）ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、 ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有してないものとする ２）ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台 流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆は同等品を使用する

室内に関わる材料は（上記①～⑤及び建具、ｼｰﾙ材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする

2 仮設工事

⊙足場等　[2.2.1]
⊙足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙１（手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
⊙手摺先行くさび緊結式足場　高さ10m未満　建地幅600程度
外部足場に設ける防護シート等
⊙養生シート※JISA8952のⅠ類に適合するもの
（建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの）
・防音シート　・採光防音シート　・養生ネット

・既存部分の養生　既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・（　）　[2.3.1]
既存家具等の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・（　）
既存ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝ等の養生方法及び保管場所　・図示（　）
固定された備品、机・ﾛｯｶｰ等の移動　・行う（図示：　）

・仮設間仕切り　仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装
・A種	・木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5・　） ・合板（※9.0・　）	厚さ mm	・片面 ※無し
・B種	・木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5・　） ・合板（※9.0・　）		・片面 ※無し
・C種	単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度・		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度・		・有り

⊙監督職員事務所　[2.4.1]
・設ける
・構内に新設する（規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書（施工条件明示）による）
・既存建物内の一部を使用する（場所　）
※設けない

⊙工事用水　構内既存の施設　※利用できる（※有償・無償）・利用できない

⊙工事用電力　構内既存の施設　㊛利用できる（※有償・無償）⊙利用できない（電気引き込み作業期間）

⊙防災倉庫移動　建物正面のプレハブ防災倉庫（2360×1200H2100ブロック置き基礎+床金物固定）
10m程度移動して、既存ブロック基礎+モルタル調整及び既存金物で再固定すること

⊙完成時の提出図書　※完成図（監督職員の指示による、設備図含む全ての図面）Ａ3二つ折り製本2部提出
記入内容は標準仕様書 表1.7.1による。仕上表には、ﾒｰｶｰ名及び品番、色番号等を記入する
※ＪＷＷＣＡＤデータ（CD-R）とも
※施工計画書（A4ファイル綴じ　提出部数：１部）
※施工図　（CADデータ　提出部数：１部）
※保全に関する資料（提出部数１部）
※工事写真・完成写真　写真データ（CD-R）とも

区分	分類規格	提出部数	部数
着工前及び工事中	カラー　※サービス版	工程毎	１部
完成時	カラー　※キャビネ版	枚	部
	カラー　・全紙版（ｱﾙﾐ額縁入）	枚	部
	・	枚	部

工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること
デジタル写真の仕様は適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる
※上記の他、完成写真内外６面程度及びその画像データを完成検査時に1部提出する
※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う
※同上提出物については、その他の工事完成書類共監督職員と調整すること

⊙特別な材料の工法　標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする

⊙見本施工　・行う（内容　）　※行わない

⊙施工図及び施工計画書　提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする

・設備工事との取り合い　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

施工範囲		区分
梁貫通部の補強		※本工事　・別途工事
梁貫通部のスリーブ		・本工事　※別途工事
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びﾄﾞｱｰﾁｪｯｸ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ		※本工事　・別途工事
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事　・別途工事
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事　※別途工事
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事　※別途工事
	補強	※本工事　・別途工事
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事　※別途工事
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事　・別途工事

⊙撤去部分　ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ等の撤去部分の項目は、原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ入れとする

⊙仮設事務所設置　工事関係や地区住民の集会用及び仮倉庫として利用
プレハブ事務所20m2程度を4か月間リースすること（備品や電気は必要なし）
場所は集会所に近い道路面空地の予定

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date　NO 2684　2026・3
drawn by
checked by　岩原英和

改修特記仕様書（1）

scale　1／

意匠　01

3 防水工事

⊙降雨等に対する養生方法(とい共)　※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｶ)による　・(　　)　[3.1.3]

・既存防水の処理
既存保護層の撤去　・行う　(範囲　・図示　・　　)　[3.2.3、4、6]
既存防水層の撤去　・行う　(範囲　・図示　・　　)
立上り部の防水層撤去　・行う(・PO5　・PO5I　・M4S　・M4SI　・S4S　・S4SI)
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　・行う(・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X)

・既存下地の処理　既存下地の補修箇所、範囲、数量等　・図示　・(　　)　[3.2.6]

⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ
シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
⊙シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	MS-2

シーリング面への仕上塗材仕上げ等　・行う　⊙行わない
ブリッジ工法　ボンドブレーカー張り　・適用する
エッジング材張り　・適用する
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験(部位　　)

⊙とい　[3.8.2、3]
といその他の材種　・配管用鋼管
⊙硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)　(※RF-VP Ⓖ　・VP)
・(　　)
ルーフドレン

種類	材種	施工箇所
・ろく屋根用(・縦型　・横型)		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

防露材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※「1(各章共通事項). 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・(　　)　・図示

5 建具工事

⊙改修工法　[5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具	・	⊙	※図示　・
・樹脂製建具	―	・	※図示　・
・鋼製建具　・外部	・	・	※図示　・
・内部	・	・	※図示　・
・鋼製軽量建具	・	・	※図示　・
・ステンレス製建具	・	・	※図示　・
・木製建具	・	・	※図示　・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示　・(　　)
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・(　　)

ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　性能値等　[5.2.2～5][表5.2.1、2]
⊙外部に面する建具の性能等級　・A種(S-4、A-3、W-4)(建具符号:　　)
・B種(S-5、A-3、W-4)(建具符号:　　)
・C種(S-6、A-4、W-5)(建具符号:　　)
⊙図示
・屋内の建具の性能等級　(　　)
枠の見込み寸法　・(　　)　・図示
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級(　)(建具符号:　　)
・断熱ドア・断熱サッシ Ⓖ 断熱性の等級(　)(建具符号:　　)
材料
ステンレス鋼板　※SUS304　SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
表面処理
外部に面する建具　※BB-1種　・BB-2種　・(　　)
着色　※標準色　・特注色(　　)
屋内の建具　※BC-1種　・BC-2種　・(　　)
着色　※標準色　・特注色(　　)
結露水の処理方法　・(　　)　・図示
水切り板、ぜん板　・(　　)　・図示

⊙鍵　[5.8.4]
マスターキー　・製作する　⊙製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵　※各室3本1組
鍵箱　※無　・有

⊙ガラス　[3.7][5.14.2～4][図5.14.1]
⊙強化ガラス
特性による種類　⊙Ⅰ類　・Ⅱ類
⊙ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	ガラス溝の大きさ(mm) ※建具の製造所の仕様による ・図示

・建築窓ガラス用フィルム

種類	記号 内張り用	記号 外張り用	その他の性能値等
※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※GI-1	・GI-2	
・			

品質　JIS A5759による

⊙トイレブース　(20.2.5)

パネル表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ⊙サポートタイプ	・標準 ⊙R	⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項). 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

6 内外装工事

⊙改修範囲　既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　⊙図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600㎜ 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修　※既存のまま　・図示

・既存床の撤去及び下地補修　ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ(接着剤とも)　[6.2.2]
・下地モルタルとも(※図示の範囲　・撤去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　・(　　)　・図示
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による

・既存壁の撤去及び下地補修　間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2]
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
(塗り厚 25㎜ を超える場合の処置　※図示　・(　　)

⊙施工一般　材料のホルムアルデヒド放散量　[6.5.2]
※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

⊙木　材 Ⓖ
本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するものとする　但し、これにより難いものは監督職員の承認を得て使用すること
日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること
・代用樹種　※使用できない　・使用箇所(　　)
間伐材等の適用　・使用する(使用箇所　　)
木材の含水率　※A種　・B種　(以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)

⊙合法性証明書　合法的に伐採された木材である証明書を提出する

⊙製　材 Ⓖ　⊙JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材　[6.5.2]

施工箇所	樹種	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
図示	杉	特一等	図示	※A種　・B種		

⊙JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面	桧	※小節以上	図示	※A種　・B種		
見え掛り面以外		※小節以上		※A種　・B種		

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等		※10%以下 ・A種　・B種		

・JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用
		造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種	

⊙合板等 Ⓖ　⊙「合板の日本農林規格」による普通合板　[6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
図示	※5.5 ⊙9	※1類 ⊙2類	ラワン	広葉樹　・1等 ※2等以上 針葉樹　※C-D以上　・	・する ・しない	

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
図示	⊙12 ⊙15	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	ラワン	※C-D以上 ・	・する ・しない		

⊙接合具等　造作材の化粧面の釘打ち　[6.5.3]
※隠し釘打ち　・釘頭埋木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度)
(形状:　寸法:　材質:　)

⊙接着剤　ホルムアルデヒドの放散量　[6.5.3、4][6.8.2][6.9.2][6.11.4、5]
※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による。

⊙防腐、防蟻処理　・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材　適用部位(　　)　[6.5.5]
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2　・K3　※K4

⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	
床組(大引き根太)	※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ・	※ JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　適用部位(　　)
・合板等の加圧注入処理の適用　適用部位(　　)

・内部間仕切軸組及び床組　・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　[6.5.6]
※杉又は松　・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松　・

・窓、出入口その他　・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　[6.5.7]
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居　ひのき　その他　松又は杉

・床板張り　・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　[6.5.8]
※ひのき　・

・壁及び天井下地　・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　[6.5.9]
※杉又は松　・

⊙ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ Ⓖ　[6.8.2、3]

種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)
※FS 乾式トイレ用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ・	トイレ (図中防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)	⊙無地 ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ⊙抗菌性 ⊙防滑性 ⊙防汚性	※2.0 ・

工法　※熱溶接工法　・目地処理工法　・(　　)
帯電防止　帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1×10^{7}～$1\times10^{10}\Omega$ 程度

・ビニル幅木　[6.8.2]
材質の種類　※軟質　・硬質
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・(　　)

⊙天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※ アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ

⊙フローリング張り　・単層フローリング Ⓖ　[6.11.2～6]

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工法	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	※なら ・	※15 ・12 ・18	幅(　) 長さ(　)	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・
・フローリングブロック1等	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・

⊙複合フローリング Ⓖ

種類	樹種	種別	厚さ(mm)	工法	仕上塗装	間伐材等の適用
⊙天然木化粧複合フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ⊙12	・釘留め工法(根太張り) ⊙釘留め工法(直張り) ⊙接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・

ホルムアルデヒド放散量
※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・(　　)

⊙畳敷き　種別　・A種　・B種　・C種　⊙D種(畳床:KT-Ⅲ)　[6.12.2]
下地の種類　⊙改修標準仕様書　表6.5.8による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン Ⓖ)
ホルムアルデヒド放散量
※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。
畳表　高知県土佐畳表検査協会の合格品使用(3種表の2等以上)　※適用する　・適用しない
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい

⊙壁紙張り　ホルムアルデヒド放散量　[6.14.2、3]
※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
図示	・	・	・	⊙	⊙	⊙不燃⊙準不燃	AAランク程度
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整　※B種　・A種
コンクリート面の下地調整　※B種　・A種
せっこうボード面の下地調整　※B種　・A種

⊙断熱材(図示GW)　外壁内　繊維系断熱材(グラスウール)厚50　密度24kg/m3

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事
date　NO 2684 2026・3　drawn by　checked by　岩原英和
改修特記仕様書(2)　scale 1/
意匠　02

6 内外装工事

⊙せっこうボード、その他ボード及び合板張り

[6.13.2、3]

種　類	JIS記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	ＨＷ	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	ＭＷ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	ＮＷ	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 G	ＨＦ	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	ＮＦ	・30
⊙けい酸カルシウム板	0.8ＦＫ 1.0ＦＫ	タイプ2（無石綿）　⊙6　・8
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃）・12（不燃）・　）（不燃）
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32Ｋ	ＧＷ－Ｂ	※25（ガラスクロス包）　・
・せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	※12.5（不燃）　・15（不燃）　・9.5
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（・不燃　⊙準不燃）
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ（Ｗ）	12.5（不燃）　幅 440㎜ 程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	ＧＢ－Ｄ（Ｔ）	9.5（準不燃）
・普通合板 G		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・天然木化粧合板 G		
・特殊加工化粧合板 G		・オーバーレイ　・プリント　・塗装
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　厚さ1.2
⊙不燃化粧板	キッチンパネル	⊙3
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	Ｇ－ＭＤＦ	・3　・7　・9　・12　・無研磨　・研磨
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・塗装 ・10（難燃）　・12（難燃）　・
・ハードボード（素地） G	ＨＢ	・無研磨板（・スタンダード・テンパード） ・研磨板（・スタンダード・テンパード）
・ハードボード（化粧） G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	Ａ－ＩＢ Ｔ－ＩＢ	Ａ級 ・9　・12　・15　・18
・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板 化粧加工K2	密度ＡＩ	・6　・9　・12

せっこうボード等の下地　※図示
遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
合板類の張付け　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・（　　）

⊙モルタル塗り

モルタル　⊙現場調合材料　・既調合材料　[6.15.3、5、6]
既製目地材　・使用する（施工箇所：　　形状：　※図示　）
床の目地　・設ける　（工法　※押し目地　・　　）
　目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・（　　）
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　※図示

⊙タイル張り

伸縮調整目地の位置　・（　　）　・図示　[6.16.2～4]
見本焼き　・行う　・行わない
試験張り　・行う　・行わない
⊙有機系接着剤によるタイル張り　・セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性	備考
ステップタイル	図示	⊙	・	・	・	⊙	・	・	⊙	・	・	・	・	標準品 テーパー付
(汚垂タイル)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

⊙床下調湿剤

住宅用粒状天然ゼオライト調湿剤程度（1袋10ｋｇ品坪2袋用　計28袋程度）敷き均し
コンクリート面専用防湿シート共

⊙差し掛け取替え

ポリカーボネート小波　熱線カット　両面耐候仕様　厚0.7程度　専用取付金物共
柱脚金物-ステンレス90×90×210程度　接続金物
現地を調査の上、既存を参考に、施工図を作成して、監督職員承諾の上施工すること

7 塗装工事

⊙材　料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[7.1.3]
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所　　）

⊙下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
※塗替え面積の30%　・図示
既存錆止め塗料の鉛含有量調査　・行う（　箇所）　・行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※RB種　・	
鉄鋼面	※RB種　・	
亜鉛めっき鋼面	※RB種　・	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種　・	
モルタル面、プラスター面	※RB種　・	・行う
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)、ALCﾊﾟﾈﾙ面	※RB種　・	・行う
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)	・RB種　・RC種	・行う
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・RA種　・RB種　・RC種	・行う
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	※RB種	

・錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	A種	※C種　・
		新規見え掛り	A種	※A種　・
		新規見え隠れ	A種	※B種　・
	EP-G（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※B種　・A種	※C種　・
		新規見え掛り	※B種　・A種	※A種　・
		新規見え隠れ	※B種　・A種	※B種　・
	DP（工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)〈イ〉(b)による。	・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
		新規	7.4.2(1)〈イ〉(a)による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※A種　・B種	※C種　・
		新規 鋼製建具等	※A種　・B種	※A種　・
		新規 その他	※B種	※B種　・
	EP-G（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	C種　・	※C種　・
		新規 鋼製建具等	C種　・	※A種　・
		新規 その他	C種　・	※B種　・
	DP（工程の種別は表7.4.6）	塗替え	B種　・	—
		新規	B種　・	—

⊙塗装

[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部(外部)	※B種　・	※A種　・
	木部(内部)	※B種　・	※B種　・
塗料の種類　※1種　・2種	鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種　・	※B種　・
・クリアラッカー塗り (CL)	木部	・A種　※B種	・A種　※B種
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面	※B種　・	※B種　・
⊙耐候性塗料塗り (DP)	塩ビパイプ面　上塗り ・1級　・2級　⊙3級	・	—
	亜鉛めっき鋼面　上塗り ・1級　・2級　・3級	・	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	屋内の亜鉛めっき面	※B種　・	・A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・A種　※B種	・A種　※B種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS)	
⊙木材保護塗料塗り (WP)		・A種　※B種	・A種　※B種

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・（　　）
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・（　　）
高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書7.2.2）　・RA種　※RB種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1種 ・2種 ・3種	塗料製造所の仕様による

クリアラッカー塗りA種の工程2　・適用する（着色材：・溶剤系　・油性染料）　・適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用　・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等　・（　　）

8 その他の工事

（土間新設工事）

⊙砂利地業

材料　(4.6.2)
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
砂利砕石厚さ　(4.6.3)
※60㎜　⊙50
施工範囲　(4.6.3)
⊙基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

⊙床下防湿層

材料　(4.6.2、5)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜以上
施工範囲
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　・図示

⊙溶接金網

鉄線の形状等　(5.2.2)

種　類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙溶接金網		Φ6-100×100	図示
・鉄筋格子			

⊙コンクリートの種類等

・普通コンクリート　(6.2.1～4)(6.3.2)(6.10.1、2)

設計基準強度 (N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所
・24	⊗18	図示
⊙21	・15	
・18	・	

構造体強度補正値　(6.3.2)
※標準仕様書表6.3.2による

⊙コンクリートの種別

コンクリートの 類別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙セメント

種　類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所(※下記以外全て　・　　)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が
7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする
・高炉セメントB種 G
適用箇所(・1FLより下部（立上り部含む）　・　　)
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所(　　)

⊙骨材

アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)
※A　・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m³ 以下）
・再生骨材H
本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

⊙混和材料

⊙混和剤　(6.3.1、2)
混和剤の種類
⊙標準仕様書　6.3.1(4)(a)による　・（　　）
・混和材
混和材の種類
・標準仕様書　6.3.1(4)(b)による　・（　　）

⊙ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
・A種	※図示による(　　)
⊙B種	※図示による(　　)
・C種	※図示による(　　)

コンクリートの仕上りの平たんさ　(6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
・a種	※図示による(　　)
・b種	※図示による(　　)
・c種	※図示による(　　)

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

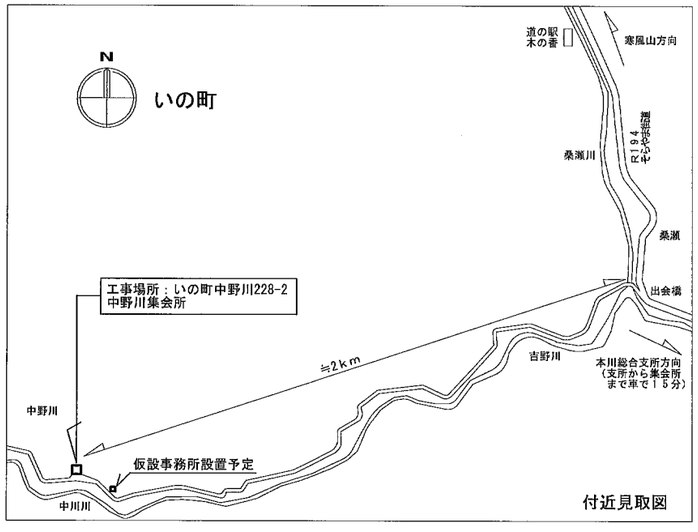
date	drawn by	checked by	scale
NO 2684 2026・3		岩原英和	1／

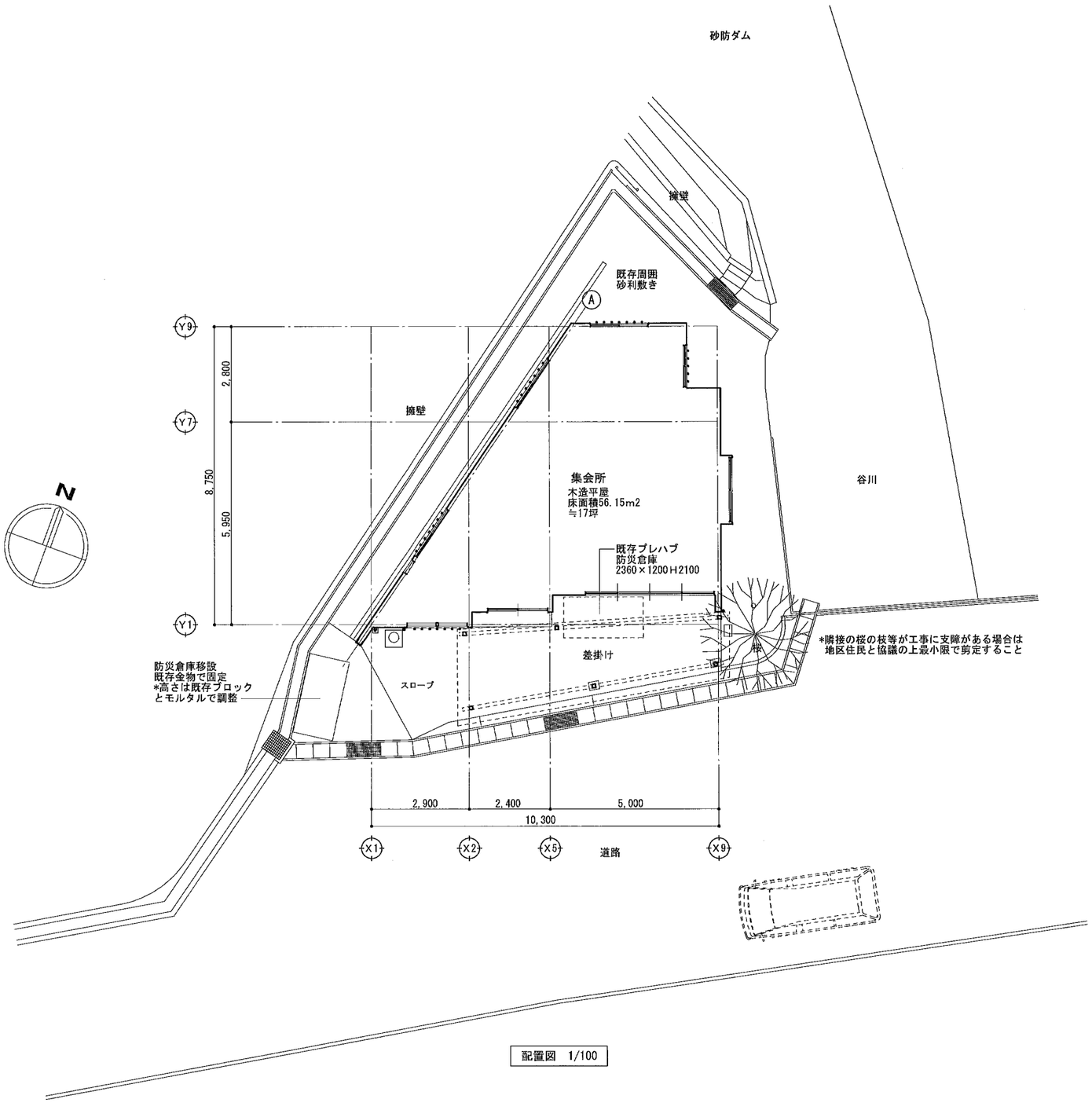
改修特記仕様書 (3)

意匠
03

工事概要

主な改修内容	
外部建築	
屋根	長尺鉄板瓦棒葺き屋根を撤去後タテハゼ葺き屋根に改修
外壁	鋼板製サイディング及びリブ波板鋼板外壁を撤去後断熱材張り込みの上Ｋ型角波鋼板張り
軒裏	一部ケイ酸カルシウム板張りＥＰ塗り
差掛け屋根	ポリカーボネートの屋根及び柱梁等取替え　木部保護塗料（ＷＰ）塗り
防災倉庫	図示移動固定
仮設事務所	4か月リース設置
内部建築	コンクリート土間新設
	既存柱・土台・屋根下地板の腐食部分調査の上部分改修
	床下の根太や大引き取替え
	コンクリート面調湿剤全面敷き均し
	フローリング床及び畳敷き（下地共）取替え
	トイレ床コンクリート打設で高さ調整を行い乾式仕様に改修
	ビニルクロス全面貼替え
	玄関サッシ及びトイレブース取替え　襖紙貼替え
	天井点検口1か所新設
電気	照明器具をＬＥＤ器具に取替え
	分電盤等取替え他
機械	和便器撤去　トイレ簡易洋便器及び暖房便座等新設
	集会室空調機新設
	床下換気扇2台新設





配置図　1/100

Special note
introductory remarks

ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

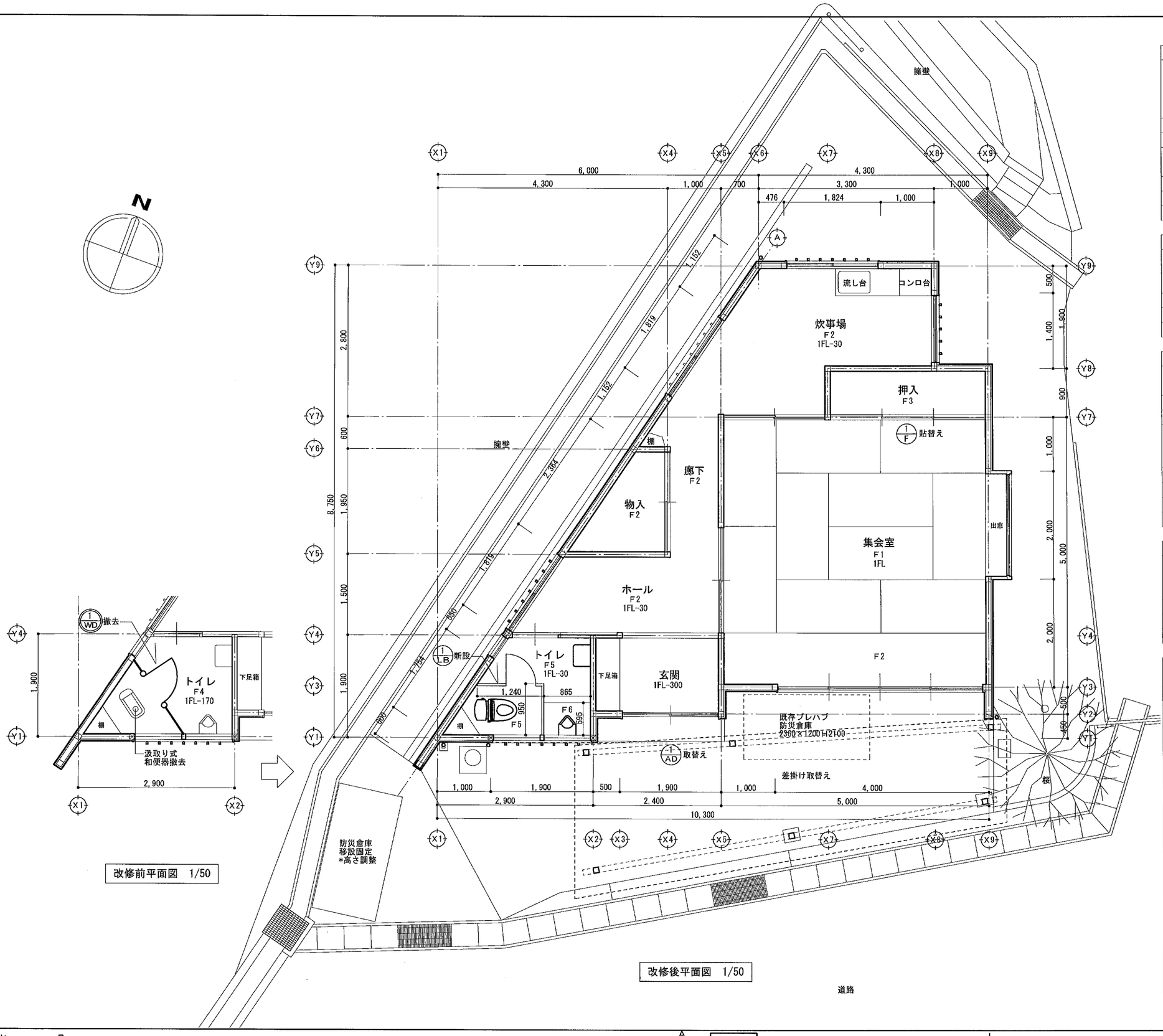
date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3		岩原英和

設計概要・付近見取図
配置図

scale 1／100

意匠

04



改修前平面図　1/50

改修後平面図　1/50

集会室		CH2600
床	F1	畳敷き厚55（下地杉板厚15共）撤去後
		畳敷き厚55（構造用合板厚15）
	F2	なら小幅フロアー厚12撤去後
		なら複合フローリング厚12（構造用合板厚12）
巾木	B1	畳寄せ*既存のまま
腰壁	シオジ板厚12*既存のまま	
壁	W1	ビニルクロス撤去（GB-R厚12面）
		ビニルクロス貼替え
天井	和風GB-D厚9.5（木下地）*既存のまま	
電気	LED照明器具に取替え・器具撤去再取付	
機械	空調機新設	

押入		CH1930
床	F3	ラワン合板厚9撤去後
		ラワン合板厚9
		雑巾ずり取替え
壁	ラワン合板厚5.5*既存のまま	
天井	ラワン合板厚4（木下地）*既存のまま	
その他	棚*既存のまま	

炊事場・ホール・廊下		CH2350～2600
床	F2	なら小幅フロアー厚12撤去後
		なら複合フローリング厚12（構造用合板厚12）
巾木	桧H70*既存のまま	
腰壁	シオジ板厚12*既存のまま	
壁	W1	ビニルクロス撤去（GB-R厚12面）
		ビニルクロス貼替え
	W2	ビニルクロス撤去（GB-R厚12面）
		キッチンパネル厚3貼り　専用見切り縁
天井	GB-D厚9.5（木下地）*既存のまま	
その他	流し台及びコンロ台等撤去再取付・棚*既存のまま	
電気	LED照明器具に取替え	

物入		CH2500
床	F2	なら小幅フロアー厚12撤去後
		なら複合フローリング厚12（構造用合板厚12）
		雑巾ずり取替え
壁	ラワン合板厚5.5*既存のまま	
天井	ラワン合板厚4（木下地）*既存のまま	
その他	棚*既存のまま	

玄関		CH2770
床	40角モザイクタイル*既存のまま	
巾木	40角モザイクタイルH270*既存のまま	
腰壁	シオジ板厚12H1957*既存のまま	
壁	W1	ビニルクロス撤去（GB-R厚12面）
		ビニルクロス貼替え
天井	GB-D厚9.5（木下地）*既存のまま	
その他	下足箱・棚既存のまま・天井点検口新設	
電気	LED照明器具に取替え・ブレーカー等器具取替え	

トイレ		既存CH2730 改修後CH2500
床	F4	40角モザイクタイル（モルタル共）撤去
	B1	タイル面H180カッター入れ撤去後
	調整	溶接金網・コンクリートH170・こて仕上げ
	F5	防滑ビニル床シート・周囲シーリング5×5,10×10
	F6	小便器廻りステップタイル
腰壁	40角モザイクタイルH600*既存のまま美装	
壁	シオジ板厚12*既存のまま	
天井	GB-D厚9.5（木下地）*既存のまま	
その他	ブース取替え・棚*既存のまま	
電気	LED照明器具に取替え・便座用ｺﾝｾﾝﾄ配線	
機械	和便器及び簡易便座撤去後簡易洋便器（暖房便座）	
	小便器及び手洗い器高さ調整取付・便器用給水配管	

Special note
introductory remarks

展開図記号 A B C D

M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

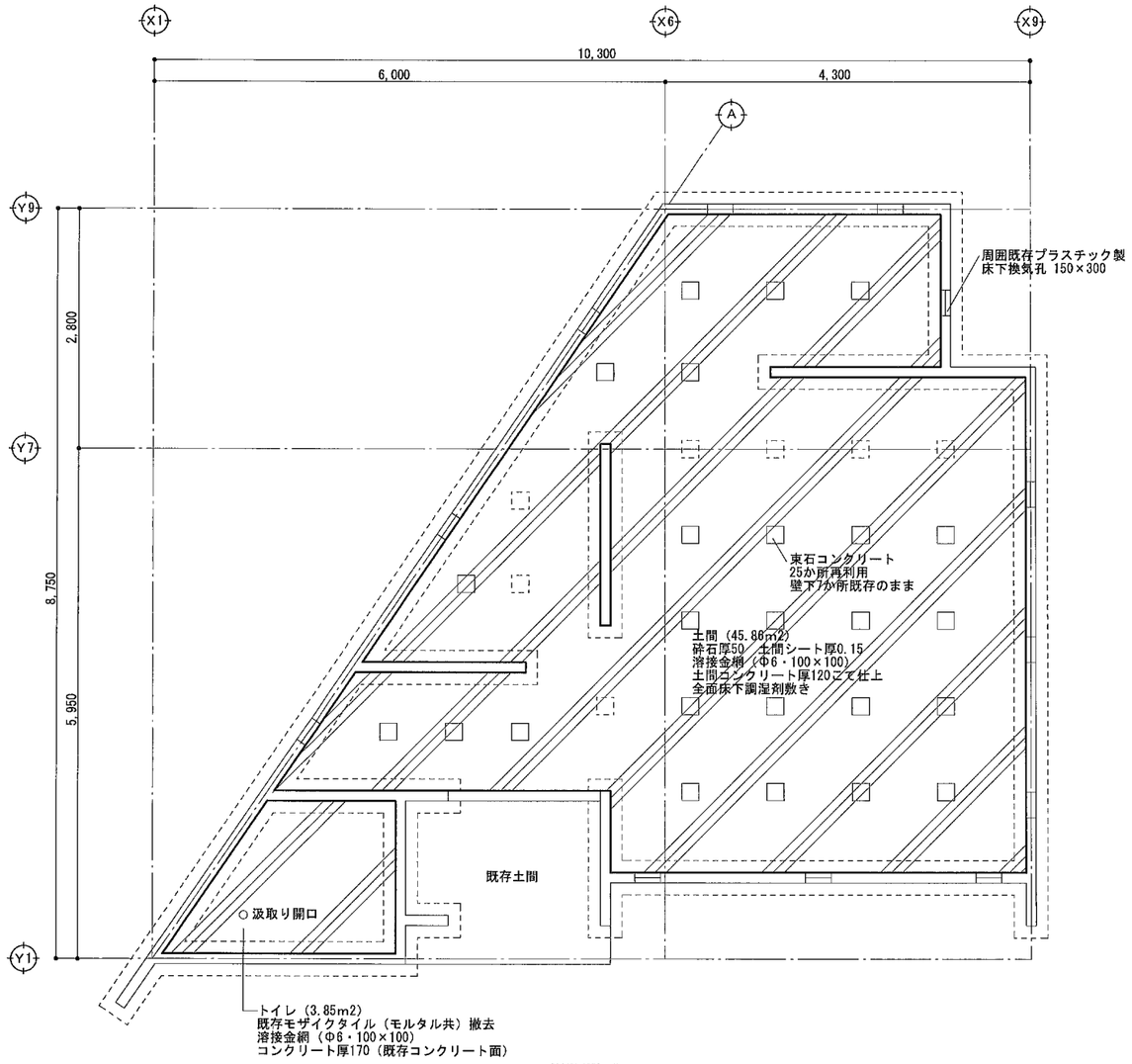
令和8年度　中野川集会所改修工事

date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3		岩原英和

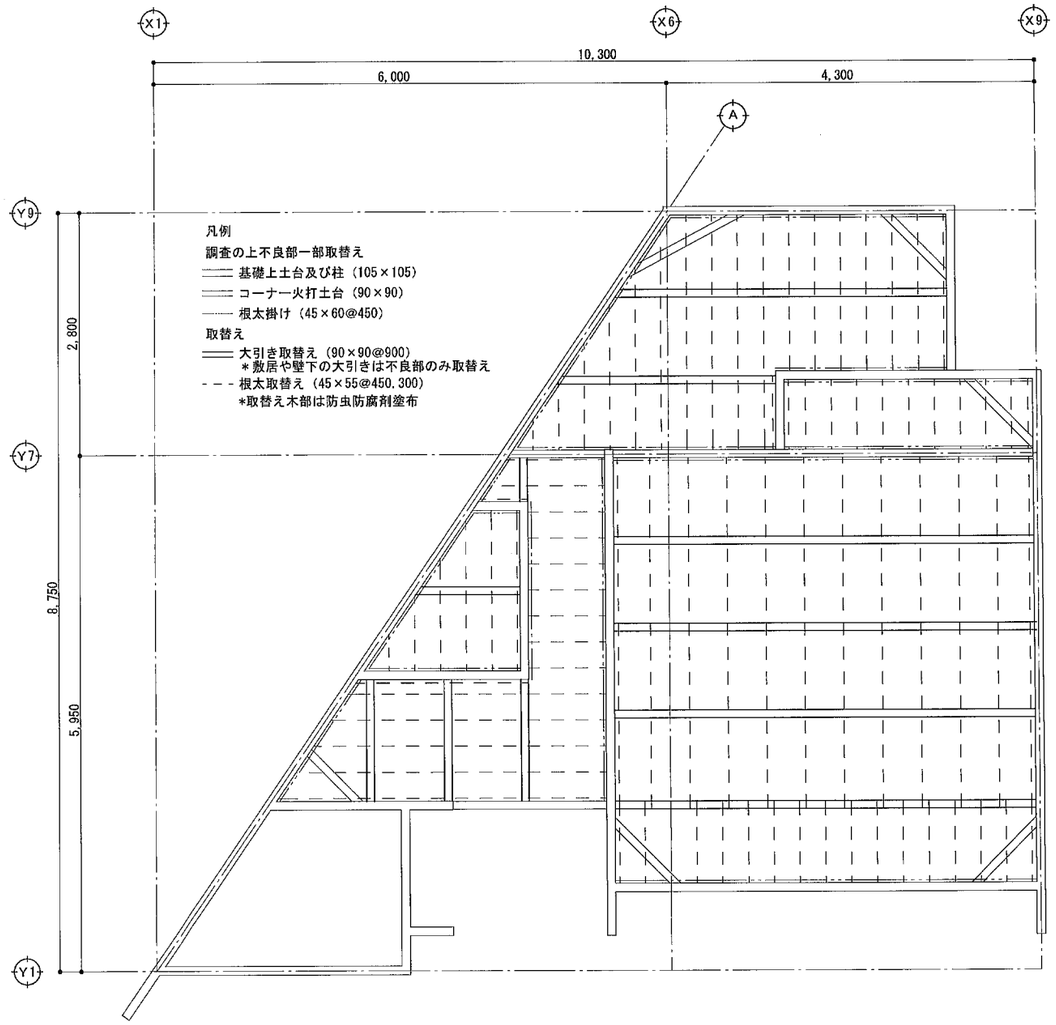
仕上表・平面図

scale 1／50

意匠 05



基礎伏図 1/50



床伏図 1/50

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

令和8年度 中野川集会所改修工事

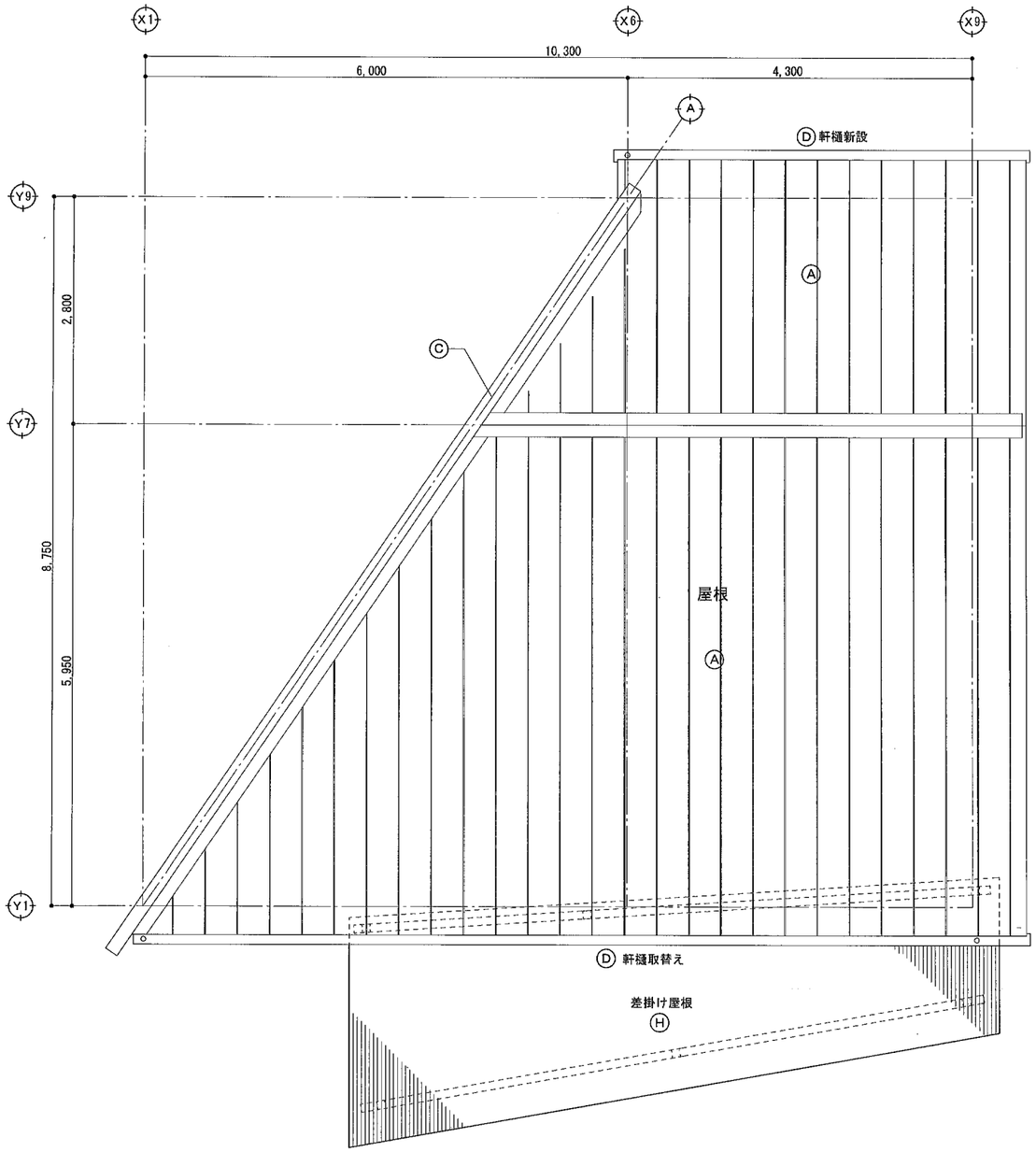
date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3		岩原英和

基礎伏図・床伏図

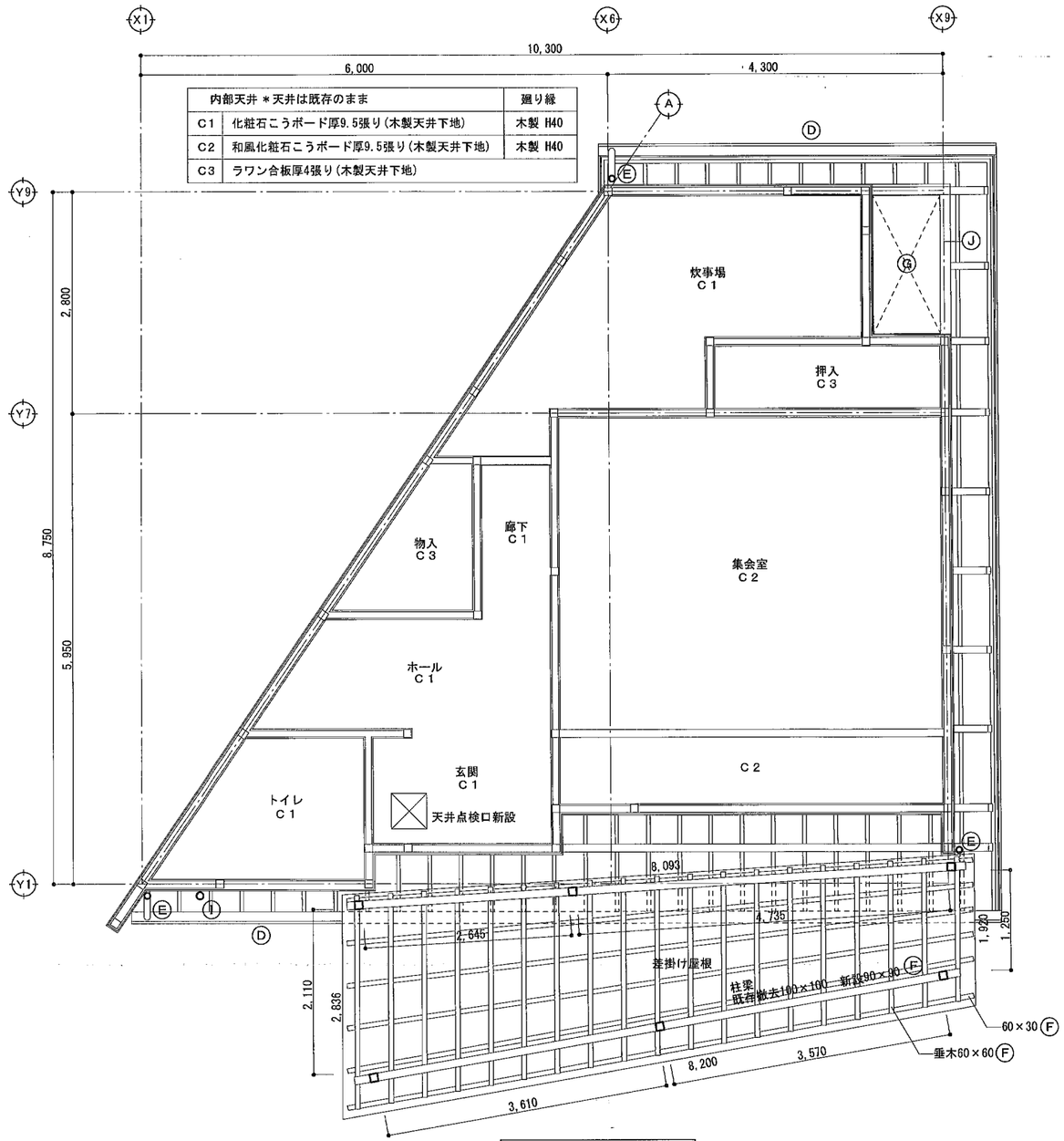
scale 1／50

意匠

06



改修後屋根伏図　1/50



内部天井 ＊天井は既存のまま		廻り縁
C1	化粧石こうボード厚9.5張り（木製天井下地）	木製 H40
C2	和風化粧石こうボード厚9.5張り（木製天井下地）	木製 H40
C3	ラワン合板厚4張り（木製天井下地）	

改修後天井伏図　1/50

改修後　外部仕上表

A	屋根：カラーガルバリウム鋼板厚0.4タテハゼ葺き	C	笠木・見切り：外壁同材曲加工幅170程度（幅は現場納りにより調整）	H	差掛け屋根ポリカーボネート板張替え
	下地調整（野地板及び断熱材）・ゴムアスシート敷き	D	軒樋：カラー塩ビ（前高130）　落し口　自在ドレイン　金物共	I	臭突塩ビΦ100　ＤＰ（3級）塗替え
	（棟包み・軒先唐草・ケラバ唐草・取合い水切り・取合いシール）		＊自在ドレインはゴミや落ち葉が入りにくいものとする	J	木部見切り　ＳＯＰ塗替え（外壁色）
B	外壁：Ｋ型角波カラーガルバリウム鋼板厚0.4張り（透湿防水シート共）	E	竪樋：カラー塩ビΦ75　接続エルボ管　金物共		
	グラスウール厚50張込み・耐水石こうボード厚12.5下地	F	木部（柱・梁・垂木等）見え掛り　木部保護塗料（ＷＰ）塗り		
	（土台水切り・コーナー出隅・軒先水切り・窓際額縁）	G	軒裏ケイ酸カルシウム板厚6張り　ＥＰ塗り		
	＊屋根及び外壁の端部納まり等はメーカー仕様による		＊同上以外の野地板見出し部は既存のまま		

Special note
introductory remarks

ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

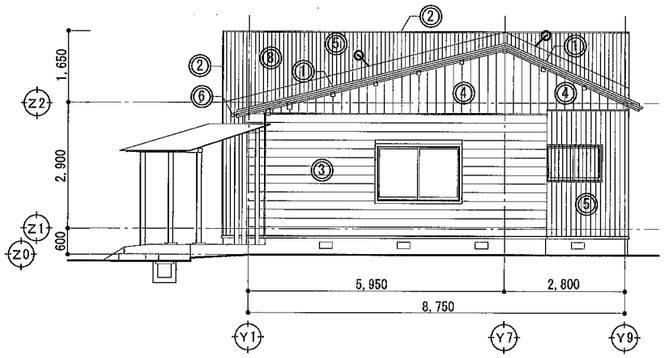
date NO 2684 2026・3 | drawn by | checked by 岩原英和

屋根伏図・天井伏図

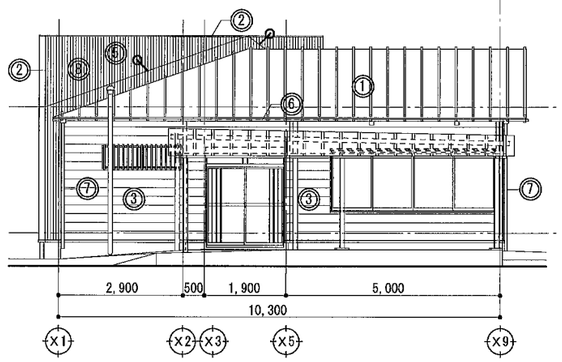
scale 1／50

意匠

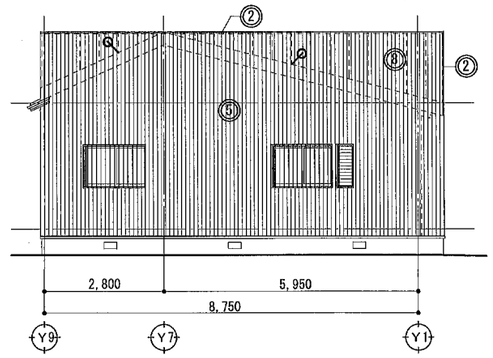
07



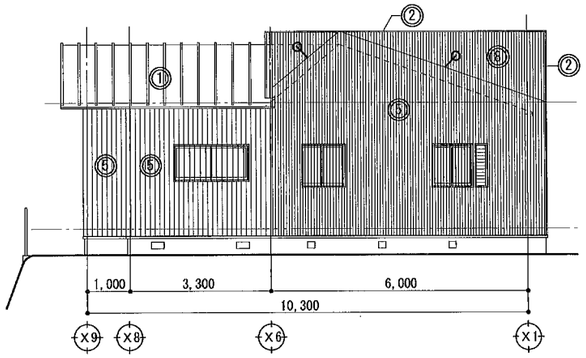
改修前東立面図　1/100



改修前南立面図　1/100



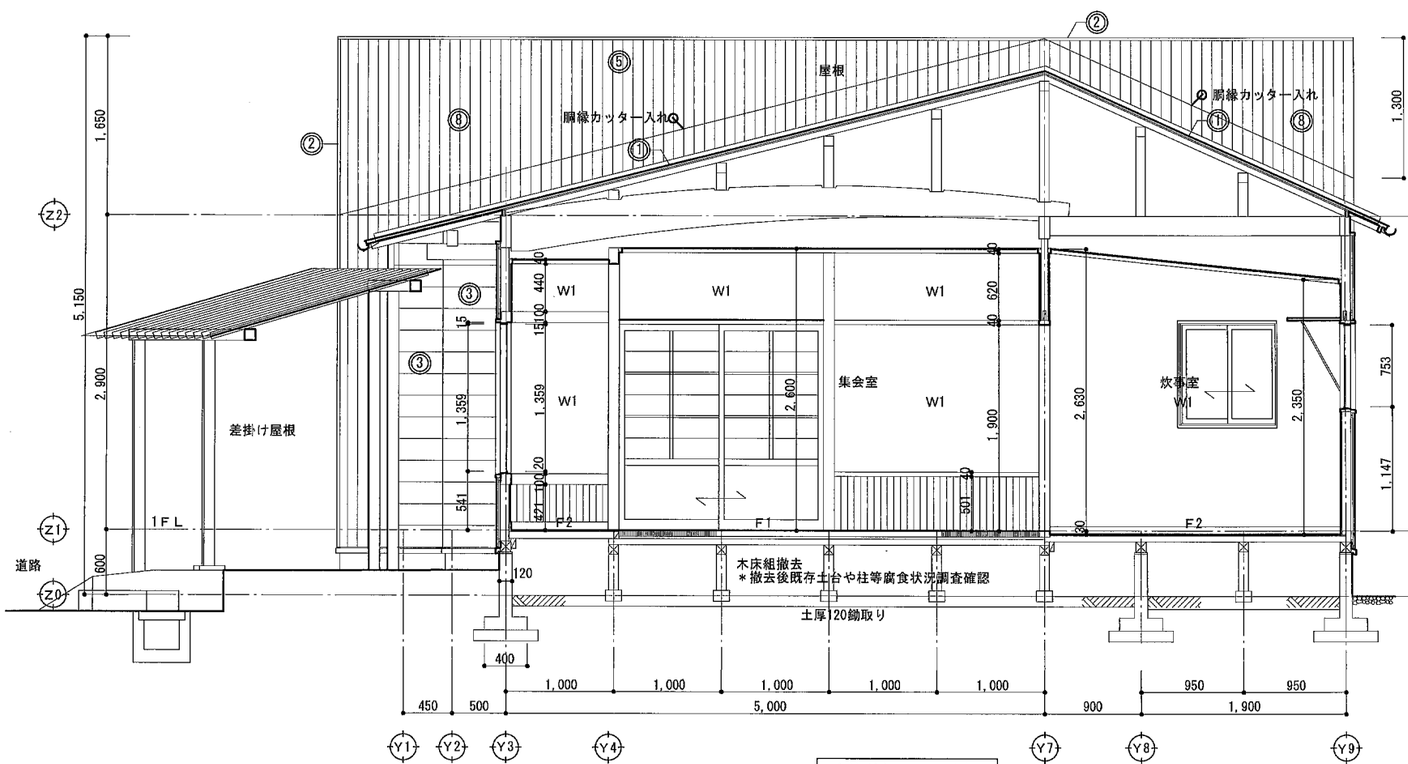
改修前西立面図　1/100



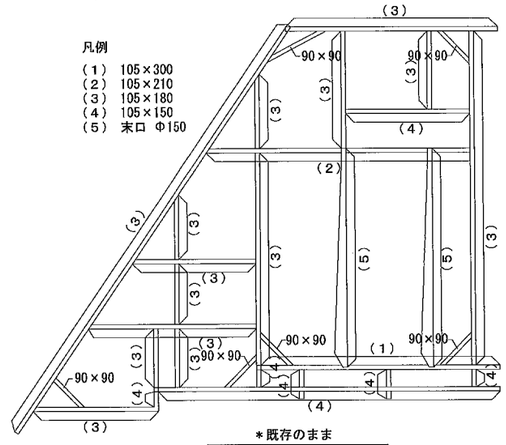
改修前北立面図　1/100

改修前　外部仕上表

①	屋根：長尺鉄板厚0.4瓦棒葺き（ルーフィング共）撤去	⑥	軒樋：塩ビ半円Φ105撤去
②	笠木・見切り：カラー鉄板厚0.4W180撤去	⑦	竪樋：塩ビΦ60撤去　金物共
③	外壁：鉄板製サイディングヨコ張り撤去	⑧	立上りタテ胴縁（35×100@450）及び頭つなぎ　カッター入れ撤去
④	外壁：鉄板製サイディングタテ張り撤去		
⑤	外壁：リブ波板鉄板厚0.4タテ張り撤去		＊根廻りコンクリートは既存のまま

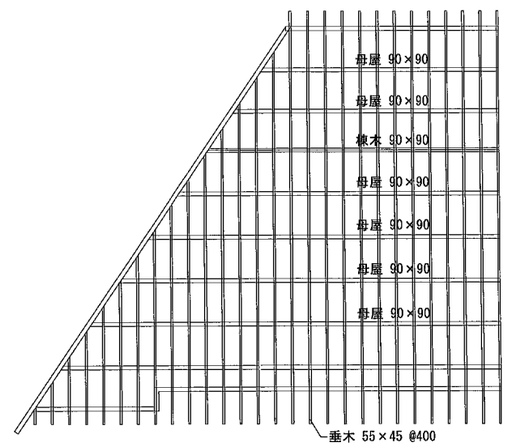


改修前矩形図　1/40



＊既存のまま

梁伏図　1/100



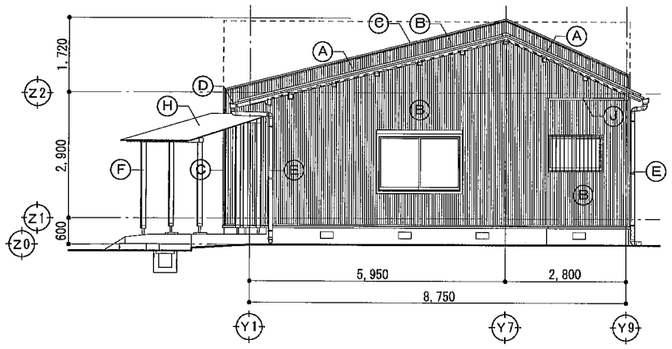
＊既存のまま

小屋伏図　1/100

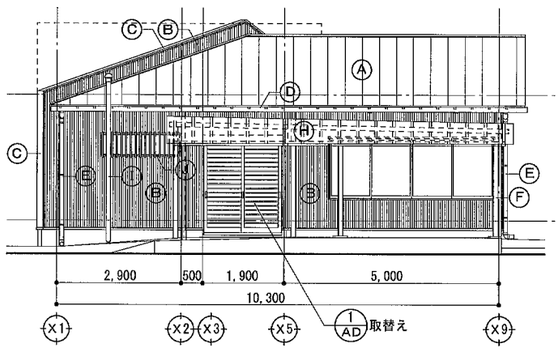
Special note
Introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

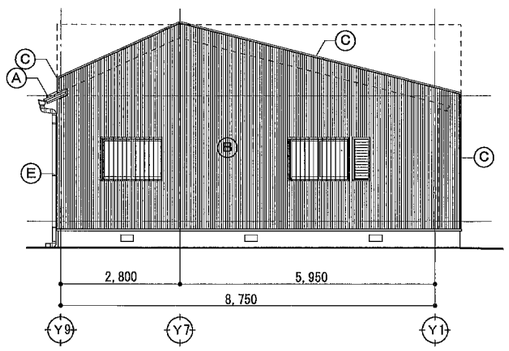
令和8年度　中野川集会所改修工事				改修前　立面図・矩形図 梁伏図・小屋伏図	意匠
date NO 2684 2026・3	drawn by	checked by 岩原英和	scale 1／100.40		08



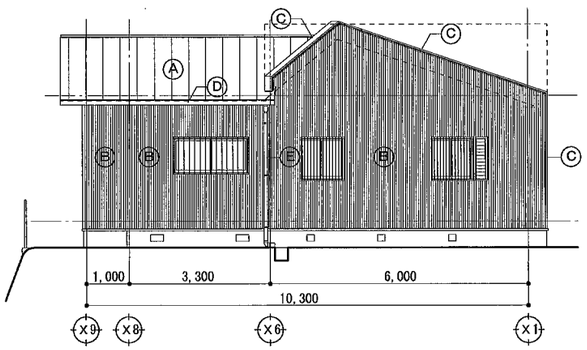
改修後東立面図　1/100



改修後南立面図　1/100



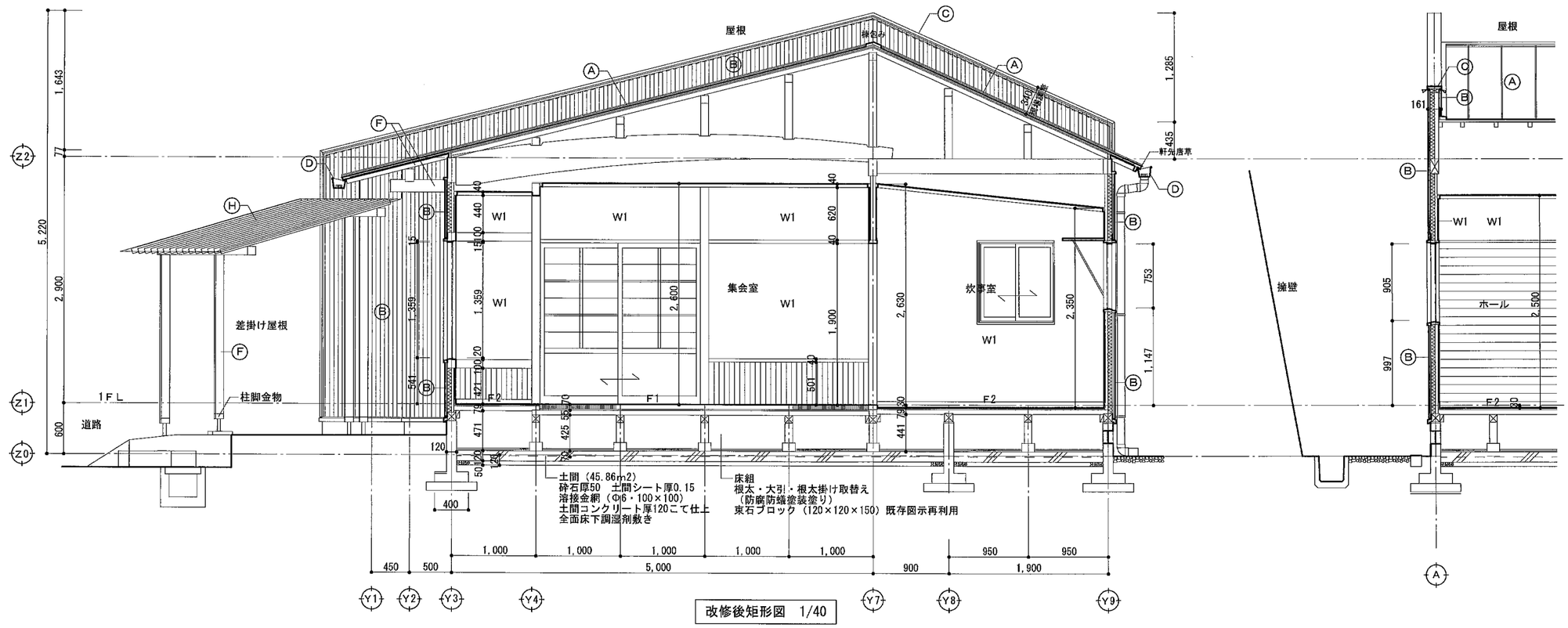
改修後西立面図　1/100



改修後北立面図　1/100

改修後　外部仕上表

Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板厚0.4タテハゼ葺き	Ⓒ	笠木・見切り：外壁同材曲加工幅170程度（幅は現場納りにより調整）	Ⓗ	差掛け屋根ポリカーボネート板張替え
	下地調整（野地板及び断熱材）・ゴムアスシート敷き	Ⓓ	軒樋：カラー塩ビ（前高130）　落しロ　自在ドレイン　金物共	Ⓘ	臭突塩ビΦ100　ＤＰ（3級）塗替え
	（棟包み・軒先唐草・ケラバ唐草・取合い水切り・取合いシール）		＊自在ドレインはゴミや落ち葉が入りにくいものとする	Ⓙ	木部見切り　ＳＯＰ塗替え（外壁色）
Ⓑ	外壁：Ｋ型角波カラーガルバリウム鋼板厚0.4張り（透湿防水シート共）	Ⓔ	竪樋：カラー塩ビΦ75　接続エルボ管　金物共		
	グラスウール厚50張込み・耐水石こうボード厚12.5下地	Ⓕ	木部（柱・梁・垂木等）見え掛り　木部保護塗料（ＷＰ）塗り		
	（土台水切り・コーナー出隅・軒先水切り・窓際額縁）	Ⓖ	軒裏ケイ酸カルシウム板厚6張り　ＥＰ塗り		
	＊屋根及び外壁の端部納まり等はメーカー仕様による		＊同上以外の野地板見出し部は既存のまま		



改修後矩形図　1/40

Special note
introductory remarks

ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

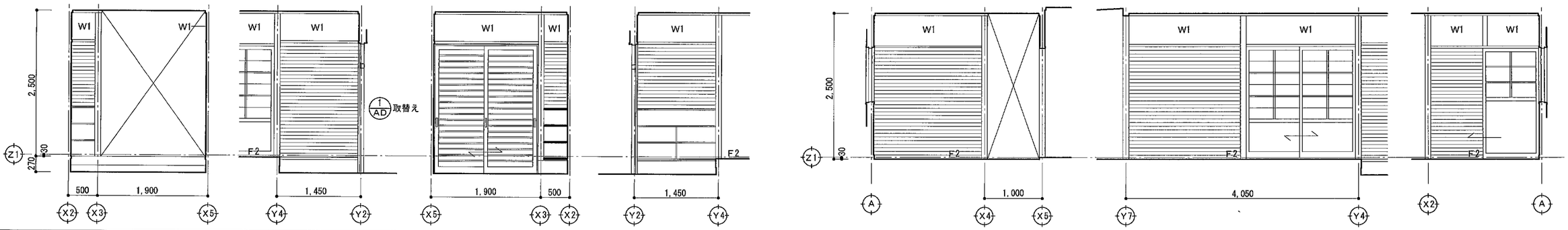
date　NO 2684　2026・3
drawn by
checked by　岩原英和

改修後
立面図・矩形図

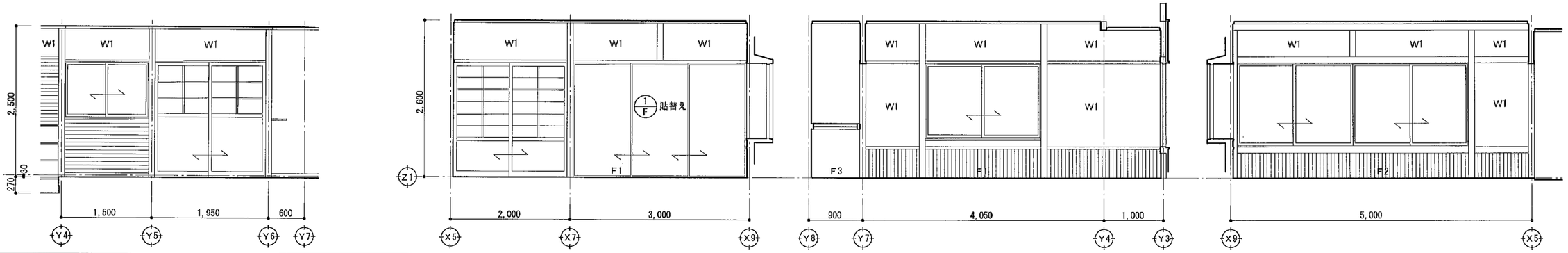
scale　1／100.40

意匠

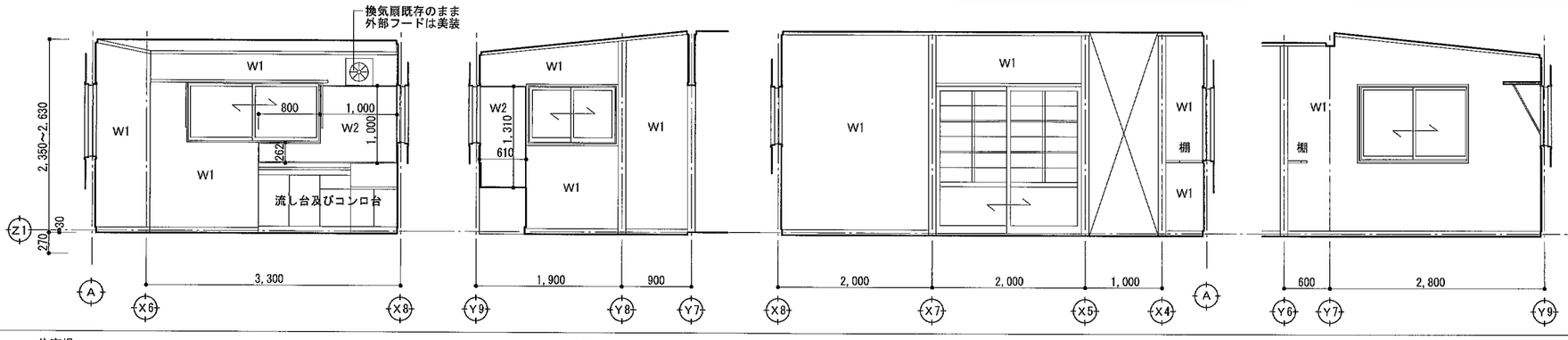
09



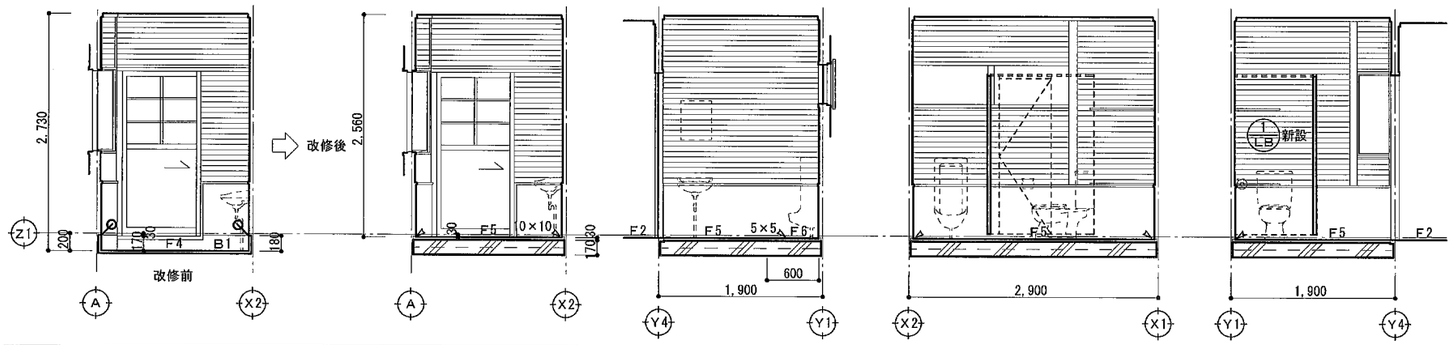
玄関　A　B　C　D　　ホール　A　B　C



ホール　D　　集会室・押入　A　　B　　C



炊事場　A　B　C　D



トイレ　A　A　B　C　D

Special note
introductory remarks

M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

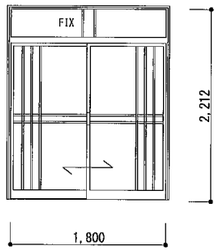
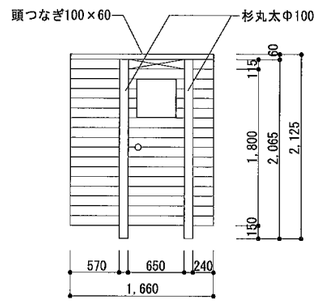
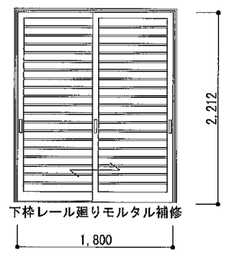
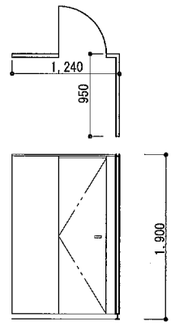
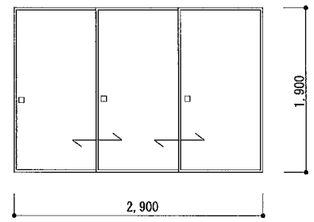
date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3		岩原英和

展開図

scale 1／50

意匠

10

番号記号	名称						
		(I AD) ランマFIX付引違い戸撤去（枠共） 1/50	(I WD) 木製ﾌﾞｰｽ撤去 1/50				
姿図寸法							
内容		撤去-アルミ押出型材　アルミブロンズ　見込70	撤去-扉杉板フラッシュ　見込30　型板硝子厚2　側板杉板厚15				
		型硝子厚4　引違い戸錠　下枠レール	表示付円筒錠　ステンレス丁番				
場所	数量	玄関 1	トイレ 1				
番号記号	名称	(I AD) 引違い戸新設（枠共） 1/50	(I LB) ラバトリーブース新設 1/50	(I F) 襖紙貼替え 1/50			
姿図寸法		 S-2　A-4					
内容		新設-アルミ　見込164程度　樹脂シートラミネート型材程度	新設-アルミアールエッジ中心吊り　見込40　高圧メラミン樹脂化粧板	襖紙貼替え-和室側新鳥ノ子紙貼替え　押入側雲花紙貼替え			
		強化型硝子厚4　彫込み取っ手　引違い戸錠　ステンレス下枠レール	表示付スライドボルト　笠木及び端部アルミ押出し型材　ポストタイプ				
		内外アルミ3方枠　その他付属金物1式	ステンレス取手　戸当り　コーナー補強金物　その他附属金物一式				
場所	数量	玄関 1	トイレ 1	押入 1			

Special note
introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date NO 2684 2026・3 | drawn by | checked by 岩原英和

建具リスト

scale 1／50

意匠

11

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1．　工事場所　　高知県吾川郡いの町中野川228-2

2．　建物概要

建物名称	構　造	階　数	延べ面積	
中野川集会所	木造	平屋建	56.15　㎡	
	※本工事は４週８休対象工事とする			

（注）延べ面積は建築基準法による表記

※施工条件

3．　工事種目

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	集会所			
電　灯　設　備	○			
動　力　設　備				
受　変　電　設　備				
自　家　発　電　設　備				
避　雷　設　備				
非　常　灯　設　備				
構　内　交　換　設　備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備	○			
電気時計設備	○			
放　送　設　備				
太陽光発設備				
ﾄｲﾚ呼出表示設備				
火災報知設備				
外　灯　設　備				
構　内　線　路				

Ⅱ　工事仕様

1．　共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版）及び電気設備工事標準図（令和４年版）による。

2．　特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項　目	特　記　事　項
① 機　材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会　　・ 中央電気保安協会　　・ （）
③ 工事用仮設物	構内に作ることが　　・ できる　　⊙ できない
4 建設副産物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。 （屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業）
5 建設発生土の処理	アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ※構外搬出 ･･･ 処理場所（　　） 所在地　（　　）　距離（　　）km その他　上記運搬距離を想定し積算しているが、処理場所については受注者が選定した候補地を参考に発注者が決定する。なお距離が変更となった場合は変更する。 ・構内指定場所に散き均し　　・ 構内指定場所に堆積
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課　特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。
⑦ 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強　　スリーブ　※本工事　・別途工事 補　強　※別途工事　・本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ　※別途工事　・本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強　※別途工事（墨出しは本工事）　・本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強　※本工事　・別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強　仮　枠　※本工事　・別途工事 補　強　※別途工事　・本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート　※本工事　・別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット（ふたを含む）　※別途工事　・本工事 屋外の受変電設備基礎　※本工事　・別途工事 動力機器（電動機など）への接続　※本工事　・別途工事 電話保安器用接地　※本工事　・別途工事

⑧ 電線類	EM-ケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
⑨ 呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑩ フラッシュプレートの材質	⊙ 樹脂製　・ 新金属　・ ステンレス
⑪ ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ の用途別表示	シール等を貼付ける。
⑫ 接地極	下記による。

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
共同接地	EAED	10Ω以下	EB（14φ）x 3連－2組
A　種	EA	10Ω以下	EB（14φ）x 3連－2組
B　種	EB	150/Is Ω Is＝1線地絡電流	EB（14φ）x 3連－2組
D　種	ED	100Ω以下	EB（10φ）x 1
C　種	EC	10Ω以下	EB（14φ）x 3連－2組
避雷用	EL	10Ω以下	EP x 1
高圧避雷用	ELH	10Ω以下	EB（14φ）x3 連－2組

13 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示　　黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示　100㎜ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。
⑮ 絶縁抵抗の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
⑯ 補修など	工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
⑰ 屋上・屋側の支持金物	ステンレス製とする。（装柱金物は除く）
18 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
⑲ はつり・非破壊検査	既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。 はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。
20 天井仕上区分	（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。
㉑ 配線器具	タンブラスイッチは大角型連用形とする。 壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200Ｖ、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
㉒ ＬＥＤ照明器具	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。
㉓ 照明器具の接地	ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
㉔ 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15Ａ以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。
25 非常用照明器具の照度測定	設置した各部屋2箇所以上
㉖ 分電盤分岐回路	分岐用配線用遮断機はJIS協約形２Ｐ５０ＡＦの１Ｐサイズとする。
㉗ テレビ共同受信設備	分岐器、分配器、直列ユニットはＢＳ・ＣＳ共用形（ＢＬ品）とする。　・双方向型 電界強度の測定　　・ 要　・ 不要
28 構内埋設線路	埋設深さ　特記なきはＧＬ－ 600 以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
㉙ 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［Ｎ］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

		⊙ 特定の施設		・ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類（※1）	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6
地下及び1階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階２．０とする。

【備考】（※1）水槽類は、オイルタンク等を含む。

注：上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階

１３階建以上の場合は上層４階

重要機器（　・ 自立配電盤　・ 防災用発電装置　・ 直流電源装置　）

（　・ 交流無停電電源装置　・ 交換機　・ 自動火災報知受信機）

（　・ 中央監視制御装置　・　・　）

2）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の２分の１とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事／骨材	本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
31 ハンドホール	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。
㉜ 工事・完成写真	写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版」による。 下記のものを監督職員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。

区　分	提出形式	備　考
工事写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ（JPEG形式） ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ（JPEG形式） ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

㉝ 工事完成図	共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。 Ａ４版　黒表紙金文字製本　１部　※要　⊙ 不要 Ａ３版　２ツ折り製本　１部　※要　・ 不要　⊙建築の製本に含む ＣＡＤデータ　ＣＤ－Ｒ　※要　・ 不要　⊙建築のデータに含む

㉞ 機器取付高	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名　称	測　点	取付高（mm）	名　称	測　点	取付高（mm）
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃　（浴場）	〃	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	(天井高）x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
ｽｲｯﾁ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機（身体障害者用）	〃	1,100	復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
〃　（和室）	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃　（台上）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
ｺﾝｾﾝﾄ（ガス漏れ検知器(LPガス)）	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500 （上端1,900以下）	コンセント（車庫）	床上～中心	800
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室） インターホン、副受信機	〃	1,500	ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	床上～警報器上端	300
			〃　（都市ガス）	天井面～中心	(天井面）-200
			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考　（天井高）x0.9は天井高が、2,500～3,000㎜の場合に適用する。

㉟ 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策	

対象建築材料等	使用制限
① 合板，木質系フローリング 構造用パネル，集成材 単板積層材，ＭＤＦ パーティクルボード，ユリア樹脂板 壁紙，繊衝材，断熱材 保温材，仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤 （防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤，木工事用接着剤 配管用接着剤，接合剤	1)ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。）

室内に関わる材料（上記①～④及び建具，シール材，その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，フタル酸ジーｎ－ブチル，フタル酸ジ-２-ヘエチルヘキシル，クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事				
date	NO 2684 2026・3	drawn by 植田　司	checked by 岩原英和	scale 1／

電気特記仕様書	電気
	01

機　材　名	指　定　品	機　材　名	指　定　品
電線管類・同付属品	ＪＩＳマーク表示品		
電　線　類　等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共工事標準仕様書（電気設備工事編）		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関の認定または評価された旨の表示をしたもの		
配線器具類	ＪＩＳマーク表示品		
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品		
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品		
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品		
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	ＪＩＳマーク表示品		
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会のＪＩＬ適合マークが貼付されたもの		
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの		
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの		
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの		
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの		
非常放送装置の蓄電池	ＪＥＡ蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの		
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの		
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの		
構内交換装置	（財）電気通信端末機器審査協会の認定品		

機　材　名	メーカー名
LED照明器具	(株）因幡電機製作所 岩　崎　電　気　（株） (株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 大光電機（株） 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）
照明制御装置	東芝ライテック(株） パナソニック（株） 三菱電機照明(株）
可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機(株） 三　菱　電　機　（株） （株）安川電機
高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日　新　電　機　（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御(株） 三　菱　電　機　（株） （株）明　電　舎
高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株） 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株） (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株） 三菱電機(株）
高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株） 大垣電機（株） （株)新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気(株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三　菱　電　機　（株）
高圧進相コンデンサ ※１モールドコンデンサに限る	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニ　チ　コ　ン　（株） 日　新　電　機　（株） 三　菱　電　機　（株） 利　昌　工　業（株）　※１
高圧用変圧器 ※２モールド変圧器に限る	愛知電機（株） 四　変　テ　ッ　ク（株） （株）ダ　イ　ヘ　ン タカオカ化成工業（株※２ （株）東　光　高　岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日　新　電　機　（株） (株)日立産機システム 富士電機(株） 三　菱　電　機　（株） （株）明　電　舎 利　昌　工　業（株）　※２

機　材　名	メーカー名
蓄電池 ﾍﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池(株）
監視カメラ装置	㈱JVCｹﾝｳｯﾄﾞ・公共産業ｼｽﾃﾑ ＴＯＡ(株） パナソニック（株） 三菱電機(株）
盤類(公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共　栄　電　機　工　業（株） 光　　電　　設　（株） パナソニック（株） 日東工業（株） 河村電器産業（株）
太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株） 京セラ(株） (株)安川電機
交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 （株）三社電機製作所 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GSﾕｱｻｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古　河　電　池　（株） 三菱電機（株） （株）明電舎

機　材　名	メーカー名

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
Ｍ Ａ 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date NO 2684 2026・3 | drawn by 植田　司 | checked by 岩原英和

電気設備機材指定表

scale 1／

電気 02

既設照明器具参考姿図

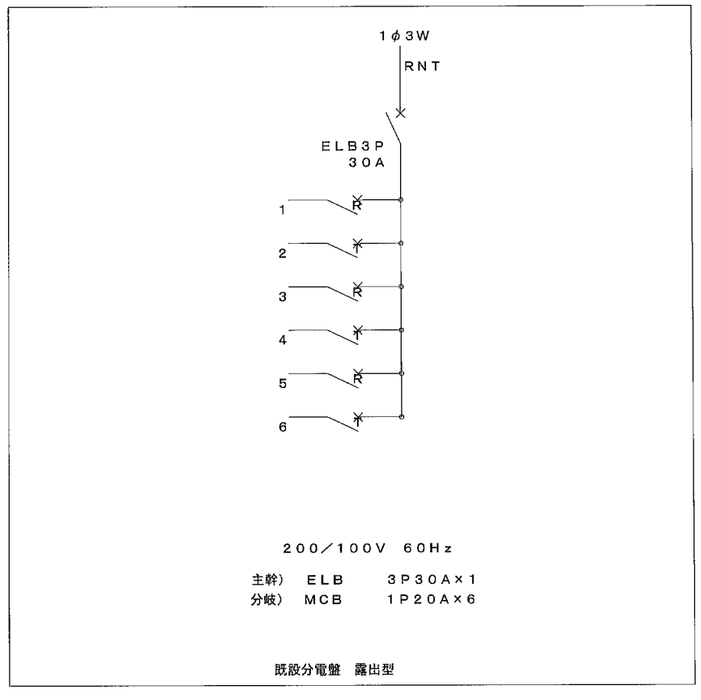
A	富士型　FL40-2	B	富士型　FL20-2
C	富士型　FL20-1	D	防雨型　FL15-1

特記事項
　既設照明器具の事前確認を行ない、取付面取合せ整合を把握し、承諾の上、施工する事

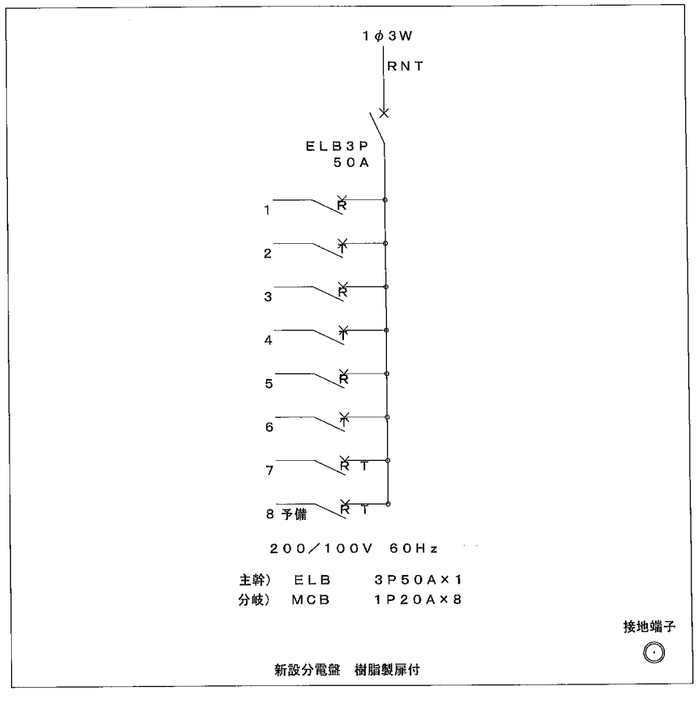
新設照明器具参考姿図

A	LSS10-4-48LE9　W230	B	LSS10-2-15LE9　W230
	一般タイプ、５２００ｌｍタイプ 消費電力３１．９Ｗ、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％） 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３ 電源装置はライトバー側に内蔵 参考型番　XFX450DENLE9		一般タイプ、１６００ｌｍタイプ 消費電力１１．６Ｗ、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％） 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３ 電源装置はライトバー側に内蔵 参考型番　XFX210DENLE9
C	直付型20W相当 LED 明るさセンサ付	D	壁付防雨型1L60W相当 LED 明るさセンサ付
	ひとセンサ付、１６００ｌｍタイプ 消費電力１１．６Ｗ、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％） 昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３ 電源装置はライトバー側に内蔵 参考型番　XFX210NNNLE9		昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３ 器具光束５６５ｌｍ、消費電力７．１Ｗ 拡散タイプ、防雨型 ツマミネジ方式、ＰａＰＩＲｓ・明るさセンサ付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 参考型番　LGWC80380LE1

特記事項
　施設担当者承諾の上、新設照明器具の動作確認調整取り扱い説明を行なう事



既設分電盤　露出型



新設分電盤　樹脂製扉付

Special note
introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3	植田　司	岩原英和

照明器具姿図　盤図

scale 1／

電気

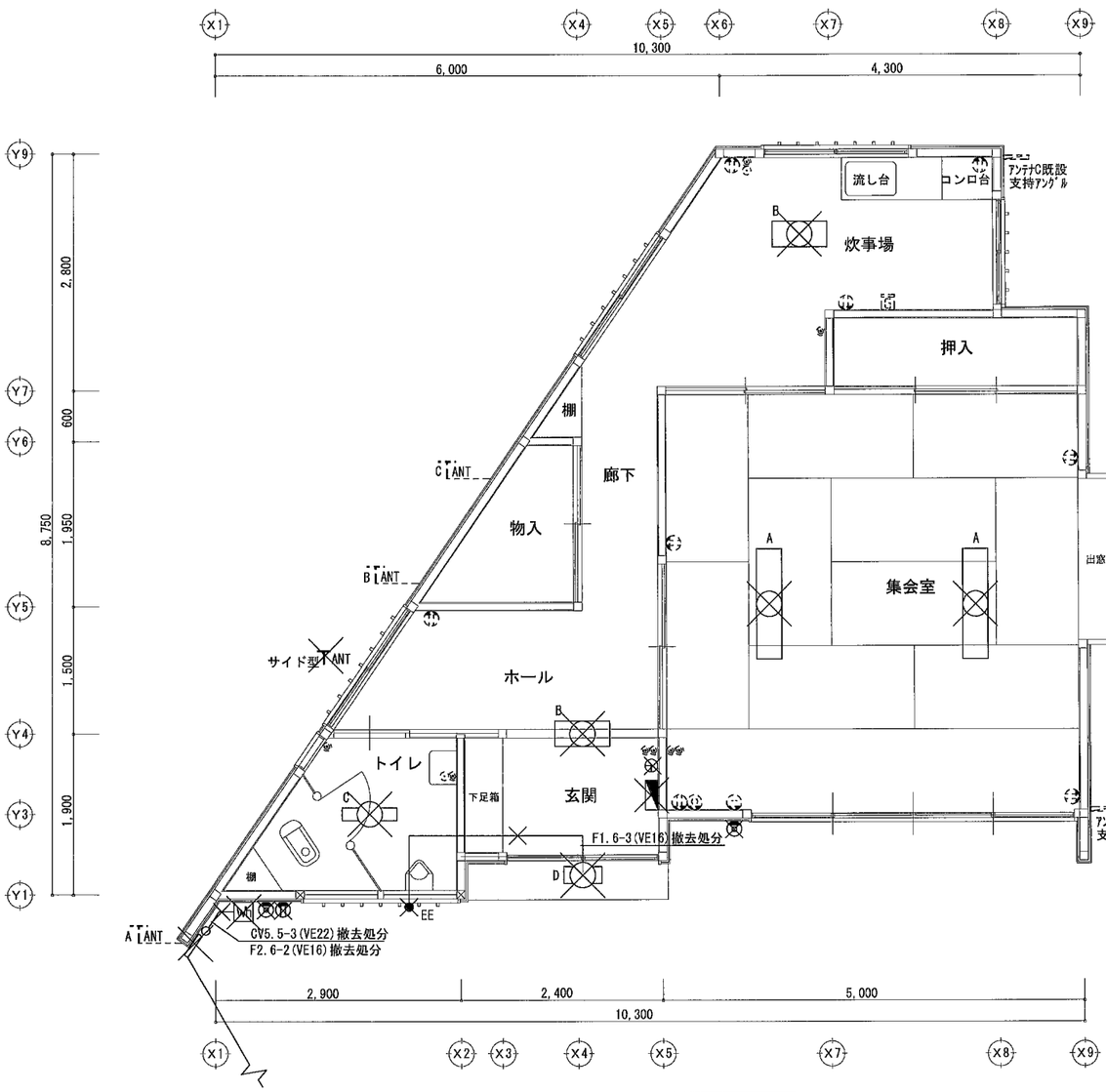
03

撤去、処分		
	A	照明器具　FL40-2
	B	照明器具　FL20-2
	C	照明器具　FL20-1
	D	照明器具　FL15-1
	EE	照明器具D用自動点滅ｽｲｯﾁ、改修部配線類撤去共
		分電盤　主幹3P30A分岐6
		防雨入線カバー
		防雨型コンセント
		時計放送設備、露出部配線類撤去共
		電力計器取付板及び引込口への幹線配管
ANT		ｱﾝﾃﾅ　サイド型
		引込ｱﾝｸﾞﾙ延長後方鋼材を利用し、DVRの離隔確保
		電力供給会社と事前に協議すること。
		発電機2.0KW100V仕様を5日間(搬入搬出燃料)見込むこと。

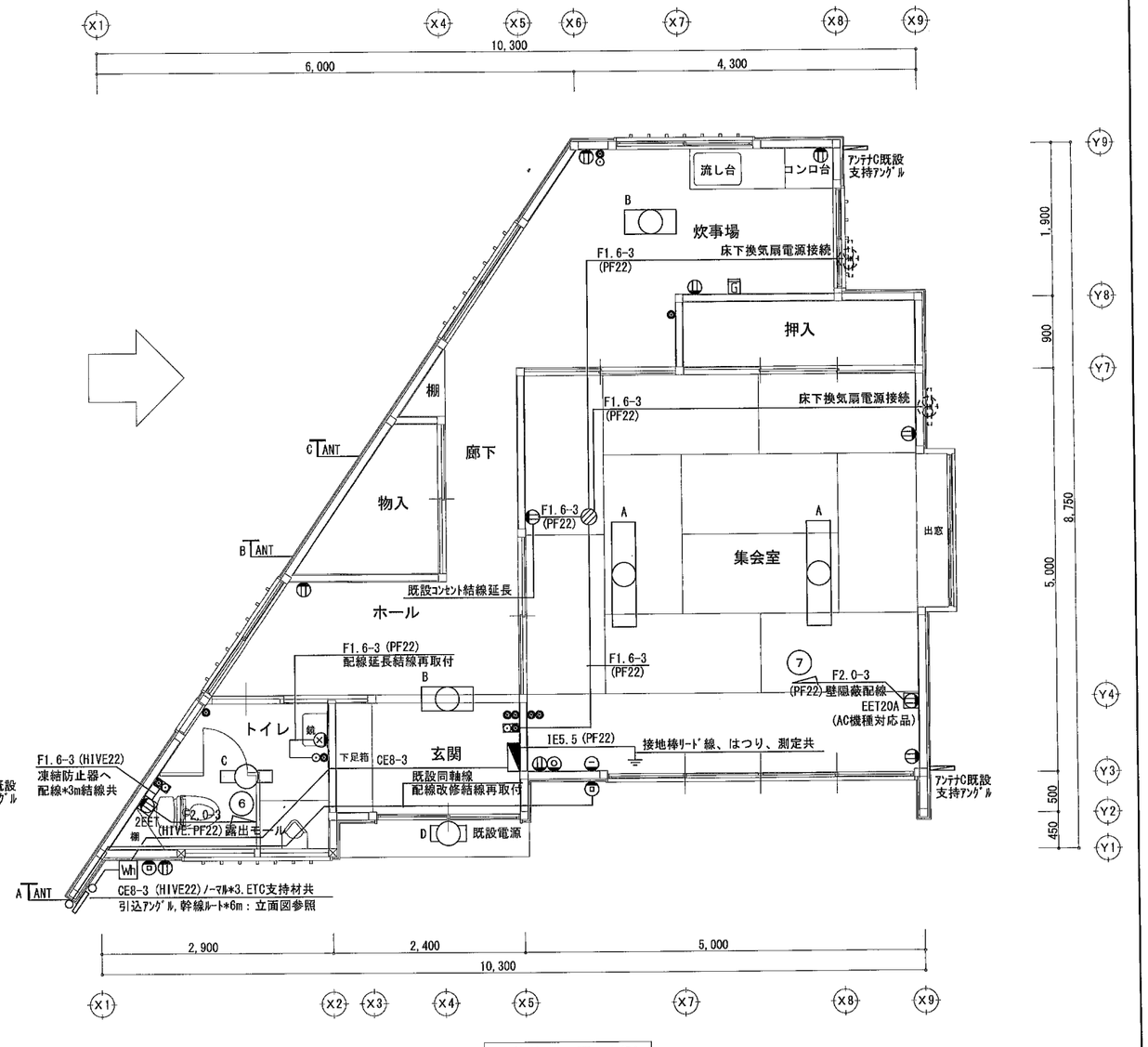
凡例	撤去、再取付	
ANT	A	ホイップ，支持金物同軸線配管類（接栓流用）
ANT	B	屋側3EL，支持金物同軸線配管類（接栓流用）
ANT	C	屋根馬ﾏｽﾄ5EL，支持金物同軸線配管類（接栓流用）
		ｱﾝﾃﾅC固定支持ｱﾝｸﾞﾙ金物*2、支線*3方向
		ｽｲｯﾁ6組、確認表示灯付（凍結防止器）
		ｺﾝｾﾝﾄ8組
		ﾃﾚﾋﾞ端子
		ﾉｽﾞﾙﾌﾟﾚｰﾄ
		時計放送設備、固定配線支持再使用
		ガス警報器、固定配線支持再使用
屋根、外壁改修期間に合わせ撤去再使用取付のこと。		
------ 波線で示す既設配線器具類は撤去再使用取付のこと。		

凡例	新設	
	A	LED照明器具　FL40-2相当
	B	LED照明器具　FL20-2相当
	C	LED照明器具　FL20-1相当ｾﾝｻｰ付
	D	LED照明器具　FL15-1相当ｾﾝｻｰ付
		分電盤樹脂製扉付　主幹3P50A分岐8回路
		防雨入線カバー
		防雨型コンセント
Wh		電力計器盤及び引込口への幹線CE8-3配管(HIVE22)
		引込ｱﾝｸﾞﾙ(どぶ)、[既設DVR引止直し離隔確保]
		新設ｽｲｯﾁ、確認表示灯付(接続機器)．後付ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ
		新設ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ．後付ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ
		新設ｺﾝｾﾝﾄ(2EET，EET20A)．後付ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ
新設、改修部電線管は（PF.HIVE）にて保護すること		

凡例	再取付	
ANT	A	ﾎｲｯﾌﾟ，試運転．新設支持金物．既設同軸線隠蔽改修配管支持
ANT	B	屋側3EL，試運転．既設支持金物同軸線配管支持
		ｱﾝﾃﾅBC共通改修部材新設[HIVE22.P.BOXVE150-150-100平*2個]
ANT	C	屋根馬ﾏｽﾄ5EL，試運転．既設支持金物同軸線配管支持
		ｱﾝﾃﾅC既設支持ｱﾝｸﾞﾙ金物*2，新設[支線*3方向．支持金物*1組]
		ｽｲｯﾁ6組
		ｺﾝｾﾝﾄ8組
		ﾃﾚﾋﾞ端子
		ﾉｽﾞﾙﾌﾟﾚｰﾄ
		ガス警報器、固定配線支持再使用
屋根、外壁改修期間に合わせ撤去再使用取付のこと。		
ｱﾝﾃﾅ．機器．器具類の一時保管、事前事後絶縁等、測定のこと。		



改修前平面図　1/50



改修後平面図　1/50

Special note
Introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

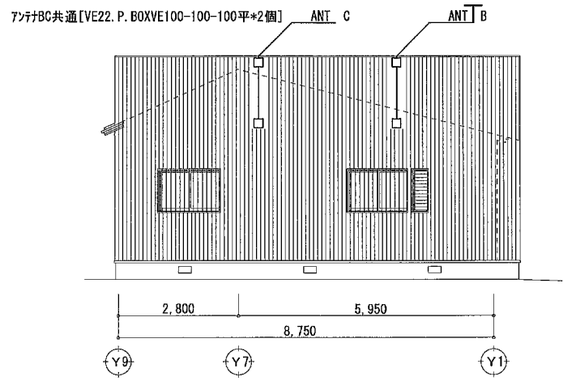
date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3	植田 司	岩原英和

電気設備図（1）

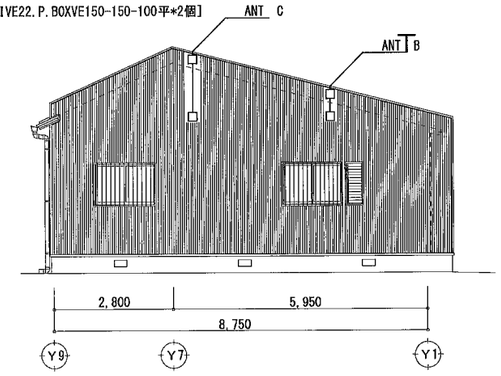
scale 1／50

電気

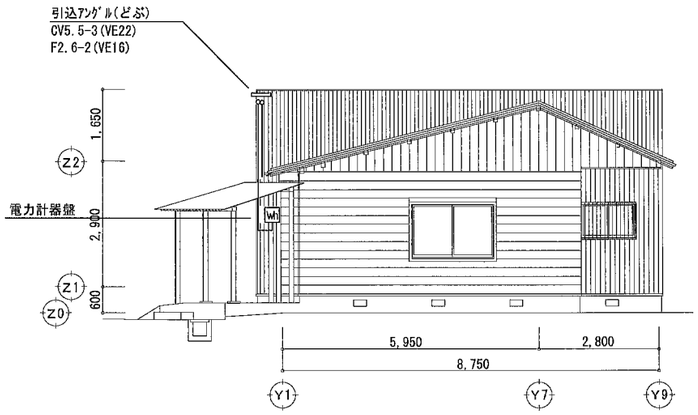
04



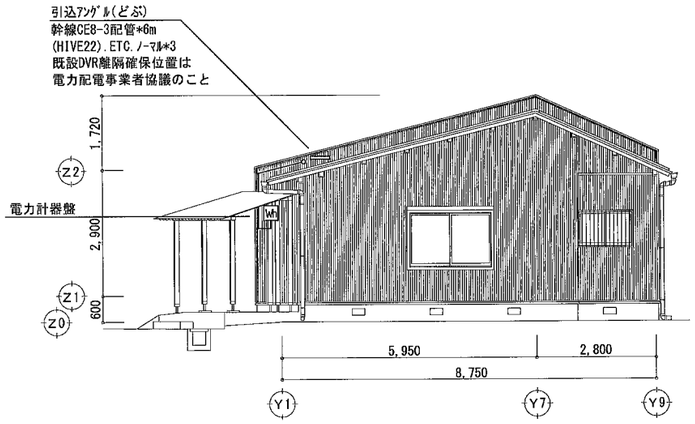
改修前西立面図　1/100



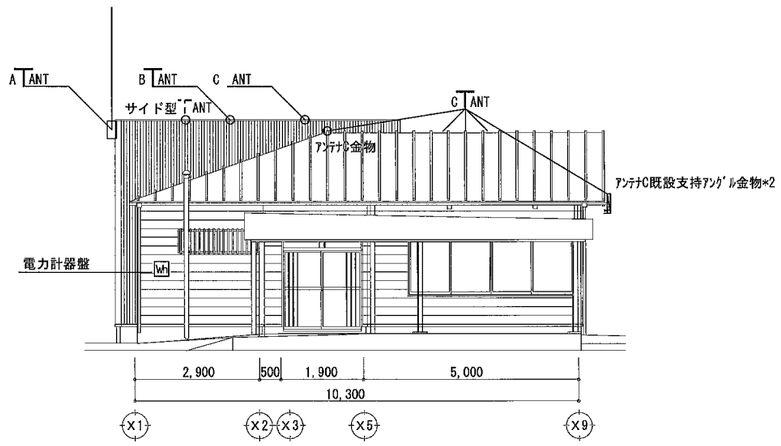
改修後西立面図　1/100



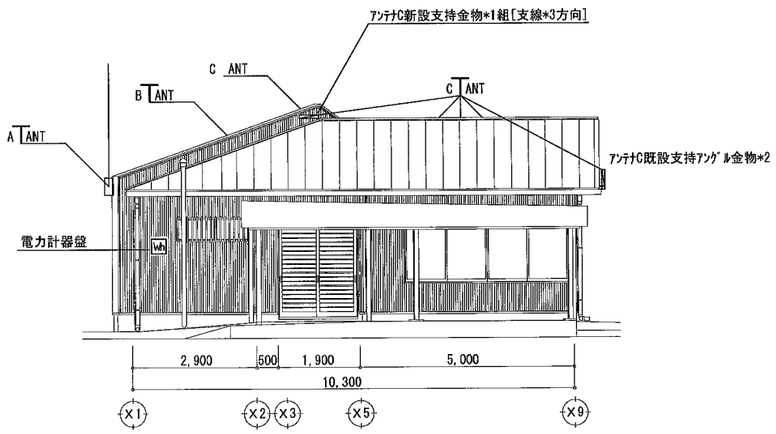
改修前東立面図　1/100



改修後東立面図　1/100



改修前南立面図　1/100



改修後南立面図　1/100

Special note
introductory remarks

M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3	植田　司	岩原英和

電気設備図（2）

scale 1／50

電気

05

特　記　仕　様　書　（１）

工事名称　令和7年度　中野川集会所改修工事
設計年度(設計図)　令和　7年度
工事期間(完成図)令和　年　月　日～令和　年　月　日
工事場所　高知県香川郡いの町中野川228-2
※施工条件　※本工事は４週８休対象工事とする

棟名	構造	階数	延床面積（m2）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
集会所	木造	平屋建 戸数 1	56.15m2	指定なし	

Ⅰ　共通事項

種	項	目　　目　　特　　記　　仕　　様　（※及び●印をつけたものを適用する）
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和４年版)」（改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和４年版)」）及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和４年版)」による。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「工事写真撮影ガイドブック　機械設備工事編」
	スリーブ	※ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部分で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱､梁以外の箇所で､開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)
	機器類	○ 国土交通省仕様　● メーカー仕様
	区画貫通処理	※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。
	耐震措置	※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成８年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修　2014年版)による。 建物の種別：　● 特定の施設　　○ 一般の施設　　地域係数：　１．０ 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の１／２とする。

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器：防災機器／火を使用する機器／タンク類／消火設備機器

仕様	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注）ナットに対するボルトの余長は３山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図１６)　※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。
	配管の支持	※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はＳＵＳ製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表

流体種別	給水				給湯				冷温水			
管材等種別	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	水栓金具	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	弁類		ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	鋼管	弁類
テープシール材			(イ)									
ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)		(ロ)		(ロ)			(ロ)
		(ハ)				(ハ)				(ハ)	(ハ)	

	（テープシール材）　※（イ）テープシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ)）によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。
	（ペーストシール剤）　※（ロ）一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※（ハ）給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No,A0-9など） ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール55･88･403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo,A0-9など）
	弁類	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。
	サヤ管工法	※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。）
	埋設深さ(管上)	● 一般敷地３００mm以上　　○ 車両通路６００mm以上　　○ 公道８００mm以上　○ 公道１，０００mm以上　○ 公道１，２００mm以上。
	埋設管の保護	● 埋設管は周囲１００mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ● 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。
	石綿含有品	※ 石綿含有分析調査　　○本工事　　○別途　　●無し アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。
	建設発生土の処理	※ 構外搬出 処理場所（　　）所在地（　　）距離（　　）km その他　建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し　○ 構内指定場所に堆積
	建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・桝類の砂利地業は原則として再生クラッシャランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)
	ｺﾝｸﾘｰﾄ工事／骨材	※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
	はつり・非破壊検査	※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。
	総合調整	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　●水量調整　●室内外空気の温湿度の測定　○騒音の測定　○室内気流及びじんあいの測定
	技能士の適用	● 配管施工(配管工事)　○ 熱絶縁施工(保温工事)　○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付)　● 冷凍空気調和機器施工　○ その他
	完成後の提出物	完成図　※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式)　● Ａ４版黒表紙金文字製本　１部　● ２ツ折りＡ３版製本　１部 施工図　○ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ○ 画像データ(PDF形式) 工事管理資料(写し)　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類　○ マンホールフック　○ 制水弁ハンドル　○ 掃除口ハンドル

室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

	対象建築材料等	使用制限
①	合板，木質フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，ユリア樹脂板	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
②	塗料	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③	木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホス，ダイアジノン，フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④	内装用接着剤，木工事用接着剤，配管用接着剤，接合剤	１）ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有しないものとする。 ２）フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤	家具，書架，実験台，什器，洗面化粧台，流し台	①，②，③，④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料（上記②～④及び建具，シール材，その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，フタル酸ジ-ｎ-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル，クロルピリホス，ダイアジノン，フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料

① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452)
② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452)
③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116･WSP 011)
④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116)
⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)
⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】 (WSP 041)
⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140)
⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)
⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459) ・・・60A以下は拡管式
⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113)
⑪ 鋼管 【M】(JIS H 3300)
⑫ 外面被覆銅管 【M】(JIS H 3330)　給湯
⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776)
⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742)
⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742)
⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127)
⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)
⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)
⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)
⑳ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)
㉑ ポリブデン管 (JIS K 6778)
㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042)
㉓ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)
㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)
㉕ 鉛管(HASS 203)
㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)
㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741)
㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】
㉙ 卵形管 【ゴムリング】(JAWAS K-3)
㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管
㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白
㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)
㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】
㉞ 断熱材被覆銅管 【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009)　冷媒
㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）
㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）
㊲ -
㊳ -
㊴ -
㊵ -

管種使用区分

工種＼場所	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空	
給水（直圧）					◯		
給水（一般）			⑮				
汚水			㉖				※125A以上の地中埋設は㉗とする。
雑排水							※125A以上の地中埋設は㉗とする。
通気							
ガス							
消火							
給湯							
器具接続							
冷温水							
冷却水							
中水							
冷媒	㉞					㉞	
空調ドレン	㊱					㊱	

塗装・防食

○ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。
○ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
○ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。
○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。
○ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。
屋外：　○ドレン管（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）
屋内：　○ダクト　（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）　○フード類（指定色塗装）

保温・防露

工種＼場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井･PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
給水	a1( )Ⅶ	b( )Ⅶ	c1( )Ⅶ	d( )Ⅶ	e2( )Ⅶ+ヌ	( )	※寒冷地対応保温筒とする。
排水・空調ドレン		b( )Ⅶ	c( )Ⅶ				※寒冷地対応保温筒とする。
給湯	a( )Ⅰ	b( )Ⅰ	c( )Ⅰ	d( )Ⅰ	e2( )Ⅰ		
冷水・冷温水管	A(ロ)Ⅲ	B(ロ)Ⅲ	C1( )Ⅲ	D( )Ⅲ	E2(ロ)Ⅲ		
冷媒管	(チ)+ｽﾘﾑﾀﾞｸﾄ	(チ)	(チ)	( )	ｽﾘﾑﾀﾞｸﾄ		
矩形ダクト	J( )XⅠ	I( )XⅠ	I( )XⅠ		K2( )XⅠ		
スパイラルダクト	O( )XⅠ	N( )XⅠ	N( )XⅠ		P2( )XⅠ		

(イ)ロックウール保温材　(ニ)簡易保温筒10mm　(ト)簡易耐熱保温筒20mm　(ヌ)ガルバリウム鋼板
(ロ)グラスウール保温材　(ホ)簡易保温筒20mm　(チ)冷媒用被覆銅管　(ル)カラーガルバリウム鋼板
(ハ)ポリスチレンホーム保温材　(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm　(リ)SUSラッキング　(ヲ)ー

● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。
※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

表示

○ 配管表記
①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。
②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。
③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
○ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。
※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図１３)
○ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。）
○ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。
○ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。
○ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
○ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示鋲(標示柱は県標準図８)を設ける。
※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(M)を埋設する。(排水・通気管を除く)

発生材の処理

○ 引渡しを要するもの（　　）
○ 現場において再利用を図るもの（　　）
※ 再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材　※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date	drawn by	checked by
NO 2684 2026・3	槌田　司	岩原英和

機械特記仕様書（1）　scale 1／

機械　01

特　記　仕　様　書　（２）

Ⅱ　工事種目

衛生器具設備

取付位置
※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。
（特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）

大便器
○ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（３mm以上）とする。（県標準図１）
○ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。

化粧鏡
※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。

流量調整
※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。
大便器　8～10秒　　小便器　8～10秒　　自閉式水栓　7秒

洗濯機パン
○ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。

シール（コーキング）
● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

機器種別 ＼	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)	
	壁	床	壁	床
洋風便器	―	不	―	不
洗面器類	不	―	要	―
掃除流し	不	―	要	不
洗濯流し	不	―	要	不
洗濯パン	―	―	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	―	要	―
壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。				

給水設備

負担金
○ 不要　○ 要（　　）

弁類
※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)
※ 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製Ｆ付き内面ライニング弁5K

継手類
※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
○ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
※ ＴＳバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。

バルブボックス
○ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図５・６による。

隠蔽部の保温
※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。
※ 空間の有る壁中配管　→　要　　流し下の空間配管　→　要

既設給水鋼管への接続
※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用)にて処置する。ただし、コアー休塑管端防食タイプソケットRC-LA型(補)リケンを使用する場合は処理不要とする。）

水槽類の施工手順
○ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図４を参考とし水位高さを協議する。

水槽類の衛生管理
○ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。

引渡前の水質の管理
○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。）
○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（　1　ヶ所）とする。

排水設備

保護砂　砂利
○ 第１桝以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（１８０度台）を要す。
○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。

樹脂製排水桝
○ 防護蓋を設置する場合は県標準図７による。

衛生器具等の接続
※ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図５による。
○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）

排水管の防露
※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要　　流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要

排水管の試験等
○ 満水試験　● 通水試験　○ 鏡確認

その他
○ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。

消火設備

消火栓箱
○ 消火栓箱は（○ 県標準図１２ ○国土交通省仕様　○メーカー仕様）
○ 共住区画の消防検査受検必要

給湯設備

弁類
○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K

絶縁対策
※ 鋼管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
※ 鋼板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。

給湯管の保温
※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。

大気汚染対策
○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

ガス設備

ガス集合装置
○ ガス集合装置は県標準図９・１０・１１を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。

給湯器用止水弁
○ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。

その他
※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
○ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。
○ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
○ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で５年間保存する。

浄化槽設備

種汚泥
○ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。

試運転調整
○ 浄化槽の使用開始後おおむね３ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。
１維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(ＢＯＤ，ＳＳ，ＰＨ，大腸菌，塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。

その他
○ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
○ 補助金申請設備
● 維持管理汲み取り指定業者にて汲み取り清掃消毒実施

空気調和・換気設備

空調機器の仕様
※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号)）の判断基準適合品とする。
なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。
○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。　○ 屋外機は耐塩害仕様とする。　● 図示

パッケージエアコン等
※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図１３を参考にして注意する。
○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照）
１）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。
２）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。
※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。

自動空気抜き弁装置
○ 不要　○ 要（　　）ヶ所　自動空気抜き弁にはＧＶ及びストレーナーを取付ける。

冷媒配管のラッキング
※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。
※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理)
(フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)

ダクト
○ アルミフレキ（不燃材料認定品）　○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）

消音内貼り
○ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンバにはその上に鋼きっ甲金網押えを行う。
○ 消音材はグラスウール(吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚,サブライチャンバーは50mm厚)とし、ガラスクロス押えとする。

厨房等の排気フード
○ 排気フードは、SUS430製（1.0mm厚）とする。●図示
○ フィルターは分解掃除が出来るものにする。
○ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい）
○ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。
(参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。)

送風機(大型)
○ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。

エアコン類の電気工事
※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。
※ ﾘﾓｺﾝ線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。）
※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。）
※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明ＳＷの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。

防振ハンガー
○ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図１４による。

耐震対策措置
○ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図１５による。

機器付属の制御盤
○ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。

大気汚染対策
○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

工事別途

別途工事

○ スリーブ、箱入れの補強筋	○ ガラリ	○	○
○ 天井および壁貫通に対する下地補強	○ プロパンボンベ庫	○	○

Ⅲ　材料メーカー表

材　料	材　料　メ　ー　カ　ー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
ＦＲＰ水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
ＦＲＰ膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
エアースイングファン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、池電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者		
	ボイラ	○ 資格不要　○ 特別教育修了者（小型ボイラ）　○ 講習修了者　○（　）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要　○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要　○ 第（　　）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打　合　せ　事　項	確　認　日
給　水			令和　年　月　日
排　水			令和　年　月　日
消　防			令和　年　月　日
浄　化　槽			令和　年　月　日
ガ　ス			令和　年　月　日
そ　の　他			令和　年　月　日
			令和　年　月　日

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
ＭＡ設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date　NO 2684　2026・3
drawn by　植田　司
checked by　岩原英和

機械特記仕様書（2）
scale 1／

機械
02

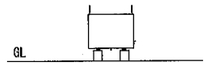
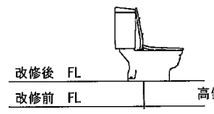
改修　空調設備　機器表

記号	名称	機器仕様	APF	電源	数量
RAC 40	空気熱源ヒートポンプ式ルームエアコン	冷房能力　4.0kW（0.5～4.3kW）　消費電力　1.22kW	-	1φ-200V	1
		暖房能力　5.0kW（0.4～10.1kW）　消費電力　1.60kW			
		機種特記　（参考型番：XCS-K405D2-W/S）　による			
		室内機　壁形　ワイヤード/ワーヤーレス型リモコン			
		室外機　圧縮機：機種特記　ドレンソケット取付			
		架台（溶融亜鉛ﾒｯｷ製）、転倒防止金物（溶融亜鉛ﾒｯｷ製）			
		冷媒配管サイズ　液側／ガス側：機種特記　ドレン配管　VP-20			
	機種特記　40型寒冷地仕様 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ優先機種				
FAN ST	臭突先端取付形換気扇	消費電力　5W	-	1φ-100V	1
		風　量　55m3/h			
		騒　音　28.5dB			
		電源ｺｰﾄﾞ　3.0m			
		取付臭突：4番(内径100mm)			
		VU/VP(100)			
	参考品番　FY-12CE3				
FAN AS	床下換気扇	消費電力　8.5W	-	1φ-100V	2
		風　量　170m3/h			
		騒　音　37.5dB			
		質　量　2.4kg			
		外寸法：530-230（埋込寸法235～470-125～170）			
		化粧カバー(SUS)			
	参考品番　FY-08FFA1				
FAN FD	排気フード	消費電力	--	-	1
		風　量			
		騒　音			
		質　量　1kg			
		寸法：305			
		アルミ製			
	参考品番　FYHDA25				

特記事項

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とし、R32を採用するメーカーの最高高効率型機種とする。
冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されていない機種とする。
電力送配電事業者と協議の上、必要な対策をとること。空調機器の仕様はメーカー仕様とする。
リモコンでの機能設定は打合せを要する。

特記事項	
冷媒配管	エアコン用被覆銅管（化学架橋30倍発泡ポリエチレン製）を使用する。
ドレン配管	空調ﾄﾞﾚﾝ配管は塩化ﾋﾞﾆﾙ管(JIS K 6741)とする。（土間、天井・PS内の50A以上）
	空調ﾄﾞﾚﾝ配管は保温材付ﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟとする。（天井・ｽﾘﾑﾀﾞｸﾄ内 40A以下）
	ドレン端末排水は　VP20φにて最寄の竪樋及び最寄りの排水溝に排水する。
配管外装	屋外露出部の配管はｽﾘﾑﾀﾞｸﾄとし、外観色にあわせること。
工事区分	エアコンの一次側電源ｺﾝｾﾝﾄまでは電気工事。以下図示本工事は二次側エアコン工事とする
	エアコンの室内外渡り電源線、制御線、ｱｰｽ(CE3.5sq/4C等）は本工事とする。
	室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルート施工は同保温外装内に納めること。但し、伝送線は別配管する事、接続は本工事。
	有線ﾘﾓｺﾝ線の場合はCEES1.25/2C～3Cとする。但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。
	空調機リモコンスイッチの配管配線・取付結線まで本工事とする。
	リモコンスイッチの取付位置は、打合わせの上決定し施工のこと。
その他	外壁冷媒管・ドレン配管貫通部については、外壁取合せ適正材を使用し、コーキングを行い雨仕舞いには特に注意して施工する事。
	室外機架台は現場の状況により、どぶ架台又はｺﾝｸﾘｰﾄ製緑石ブロック架台とする　下部段差部分もモルタル基礎等で補充のこと。
	振れ止め金具（ボルト固定式等）は本工事。
	配管貫通用開口は本工事。

機器据付固定支持処理凡例	
室外機据付固定支持処理凡例図（参考）	
	室外機架台コンクリート製、防振ｺﾞﾑ
	下部段差部分にはモルタル基礎等で補充のこと。
	室外機架台周辺に雑草対策をすること。
	室外機発生ﾄﾞﾚﾝは土間に垂れ流さないこととこと。
	室外機転倒防止処置材SUS固定材端部保護すること。
	室外機位置は事前に施設側と協議し、ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾍﾞｰｽを確保すること。
洋便器据付固定支持処理凡例図（参考）	
 偏芯100mm以内	既設和便器撤去（はつり共）後に偏芯可能範囲確認
	暖房便座(DL-RT-40等)位置に型枠スリーブを設置
	改装ｼﾞｬﾊﾞﾗﾝｹｯﾄ(VCB24.25)部材偏芯離隔、高低対策をすること。
	洋便器(FZ400-NEA24A)固定部材SUS端部保護すること。
	暖房便座取り扱い説明をすること。
	洋便器、便座用ﾘﾓｺﾝ取付位置は事前に施設側と協議し、ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾍﾞｰｽを確保すること。

Special note
introductory remarks

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事

date　NO 2684　2026・3
drawn by　植田　司
checked by　岩原英和

機器表

scale 1／

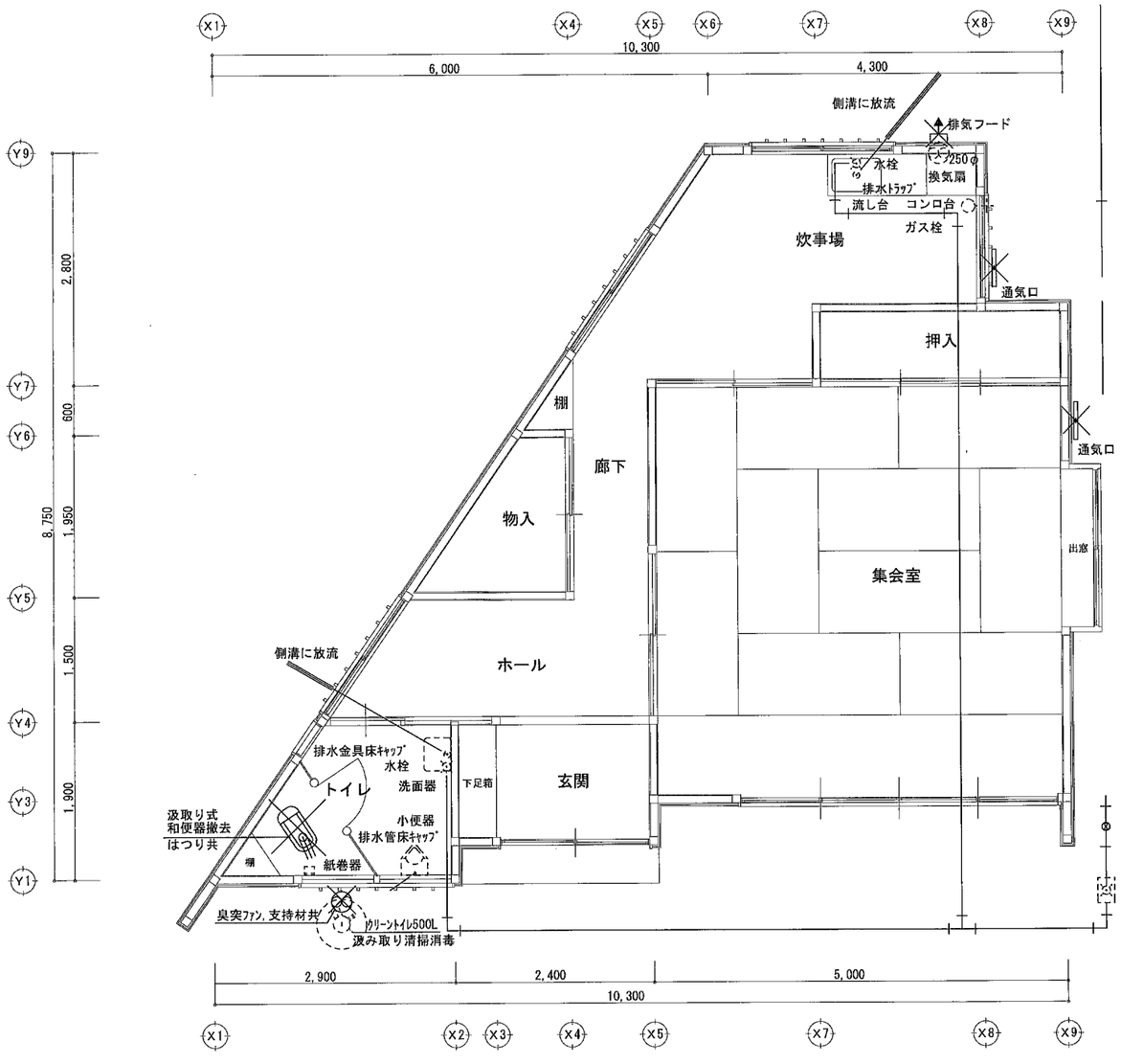
機械
03

凡例	撤去、処分
	排気フード
	臭突ﾌｧﾝ, 支持材共
	通気口はつり共
	汲取り式和便器はつり共
	ｸﾘｰﾝﾄｲﾚ500L、施工特記
	汲み取り、清掃、消毒を行うこと
	指定業者：嶺北衛生（第３木曜巡回、要予約）
	実施時期：関連者間で協議の上行うこと
建築改修期間に合わせ撤去のこと。	

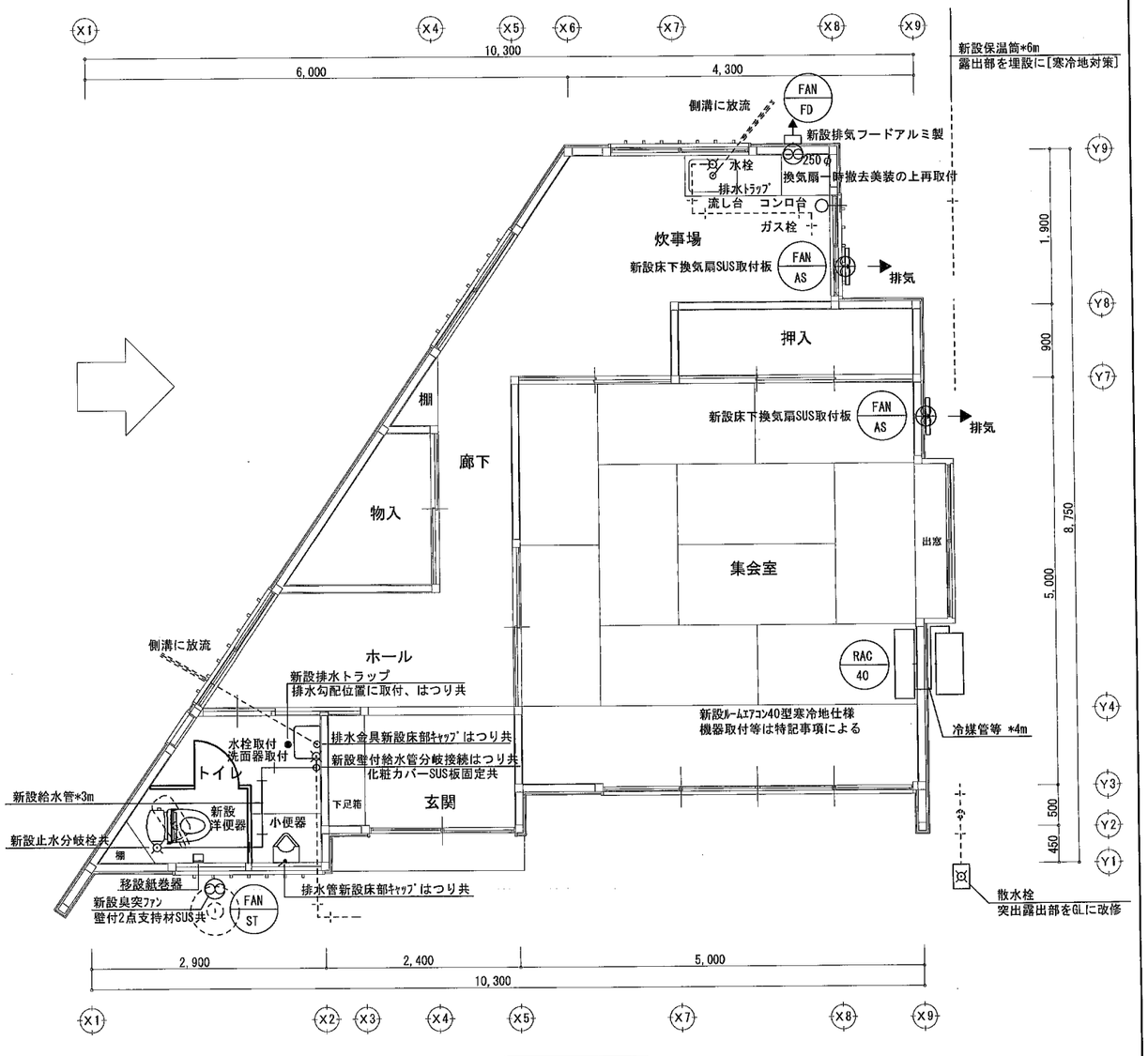
凡例	撤去、再取付
250φ	換気扇250φ
	台所水栓
	流し排水ﾄﾗｯﾌﾟ
	洗面器
	洗面水栓
	排水金具床ｷｬｯﾌﾟはつり共
	小便器
	排水管床ｷｬｯﾌﾟはつり共
	紙巻器
	散水栓改修:突出露出部をGLに改修
	ガス栓（コンロ台脇）
建築流し台コンロ台撤去再取付期間に合わせ行うこと。	
建築トイレ改修期間に合わせ撤去再使用取付のこと。	
波線で示す既設配線器具類は撤去再使用取付のこと。	

凡例	新設
	機器表による、ﾙｰﾑｴｱｺﾝ40型寒冷地仕様
	機器表による、臭突ﾌｧﾝ, 両方向型SUS壁付支持材共
	機器表による、床下換気扇SUS取付板仕様（既設撤去通気口流用）
	機器表による、排気フードアルミ製（既設換気扇250φ仕様）
	機器表による、洋便器暖房便座改装ｼﾞｬﾊﾞﾗｼｬｯﾄ型枠スリーブ共
	洋便器給水管用止水分岐栓洗浄ｶﾞﾝ(ﾋﾟｽﾄﾙﾀｲﾌﾟ)共
	給水管*3m：凍結防止ﾋｰﾀｰ*3m(結線：電気設備)、保温筒*3m
	壁付給水管分岐接続はつり共、機能試験後化粧ｶﾊﾞｰSUS板固定共
	排水トラップ接続管、既設埋設管取合せ、はつり共
	保温筒*6m：給水ﾙｰﾄ露出部を[寒冷地対策]埋設

凡例	再取付
250φ	換気扇250φ取付材共
	台所水栓取付部材補助材共（既設凍結防止ﾋｰﾀｰ再利用）
	流し排水ﾄﾗｯﾌﾟ取付部材補助材共
	洗面器固定位置移動取付材共
	洗面水栓取付補助材共
	排水金具新設床部ｷｬｯﾌﾟはつり共
	小便器固定位置移動取付材共
	排水管新設床部ｷｬｯﾌﾟはつり共
	紙巻器固定位置移動取付材共
	散水栓改修:露出傾き部をGLに改修
	ガス栓（コンロ台脇）
建築流し台コンロ台撤去再取付期間に合わせ行うこと。	
建築トイレ改修期間に合わせ撤去再使用取付のこと。	
機器.器具類の一時保管、事前事後動作外観確認のこと。	



改修前平面図　1/50



改修後平面図　1/50

Special note
introductory remarks

□ 新設簡易洋便器及び既存（手洗い器・小便器・紙巻器）の取付位置は現場で協議の上調整すること

MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
M A 設 計 事 務 所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士　登録第298514号　岩原英和

令和8年度　中野川集会所改修工事				機械設備図	機械
date	NO 2684 2026・3	drawn by	植田　司	checked by	岩原英和	scale 1／50	04